

# 平成23年度 消防年報



四日市市消防本部

## はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を平成 23 年中又は平成 23 年度を中心て収録し、将来の参考に資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

平成 2 4 年 6 月

四日市市消防本部

# 目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革・消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4~7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
<b>総 務</b>	
一 目 統 計（総務）	9
平成23年度・24年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額/過去10年間の消防費の推移	11
消防職員の推移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
プリセプターシッププログラム	19~21
平成23年度主要記録	22・23
平成24年度消防重点事業	24
相互応援協定	25
<b>警 防</b>	
一 目 統 計（火災）	26
平成23年中の火災概要	27
火災概要	28
火災発生状況比較	29
出火率比較	29
地区別火災発生状況	30
月別・時間別火災発生状況	31
出火原因別火災発生状況	32
過去10年間年別主な火災原因	33
過去10年間の火災発生状況	34
海上・沿岸防災等（IBK委託状況）	35
火災・救助以外の消防車の出動	36
消防水利状況	37
開発行為に関する事前協議等	38
緊急消防援助隊の派遣体制	39
四日市市消防支援隊の活動状況	40
防災教育センター利用状況	41
四日市市防災指導員制度（指導状況）	42
防火・防災教室の経緯と現状	43
<b>救助・救急</b>	
一 目 統 計（救助）	44
救出・救助活動状況	45
水難救助隊の災害出動概要	46
一 目 統 計（救急）	47
平成23年中の救急業務の概要	48・49
救急概要	50
救急事故発生状況比較	51
過去10年間の救急事故発生状況	51
地区別救急出場状況	52
月別救急出場状況	53
応急手当の普及計画	54
応急手当普及啓発活動の状況	54
応急手当普及活動による救命率の向上	55

## 通信・気象

一 目 統 計 (通信・気象)	56
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	57
119番通報受付取扱状況	58
通信施設保有状況	59
無線配置状況	59
気象予報・警報発表状況	60
気象状況(風速・温度・湿度・風向・降雨量)	61

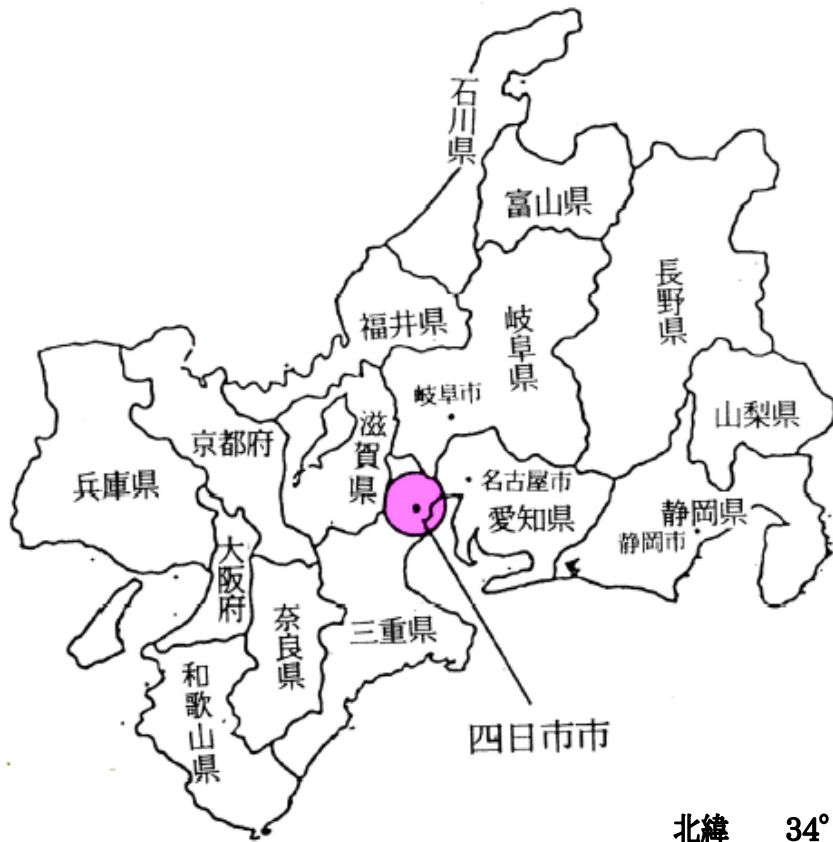
## 予 防

一 目 統 計 (予 防)	62
広報活動状況	63
広報用印刷物	63
年別建築同意状況及び防火対象物の推移	64
建築同意件数	64
消防用設備等届出状況	64
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	64
年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移	65
危険物許可事務処理状況	65
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	66
防火対象物状況(階層別)	67
防火対象物状況(消防用設備別)	68
防火対象物状況(地区別)	69
数量・類別危険物施設設置状況	70
地区別危険物施設設置状況	71
事業所等別危険物施設状況	72
コンビナート概要	73
特定防災施設	73
コンビナート防災体制	74・75
四日市臨海地区事業所配置図	76・77

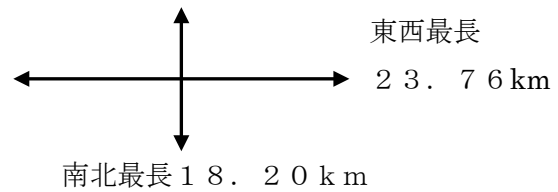
## 消 防 団

四日市市消防団の沿革	78・79
歴代消防団長	79
消防団の概況	80
消防団員の状況	81
消防団員出動状況	82
消防団訓練・研修実施状況	82
さるびあ分団活動状況	83
消防団防災支援隊の登録状況	83

# 四日市市の位置



北緯 34° 57'  
 東経 136° 38'  
 面積 205.58km<sup>2</sup>



## 四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子がうかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣に「四ヶ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

## 消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市西部に西分署、市中央部に中央分署（消防活動支援センター）、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員320名、消防車両76台のほか、1消防団及び市内各地区に26分団・団員620名・29分団車両を配備しています。

一方、大規模な災害に対応するため、緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加すると共に、耐震性貯水槽の設置をはじめ、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指しています。

## 四日市市の地勢と消防機関の配置

(平成24年4月1日)

署別・地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人 口	人口密度(1km <sup>2</sup> あたり)	
合 計	220.28	138,537	337,976	1,534	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	56,947	135,799	1,994
	共 同	1.10	3,798	7,561	6,874
	同 和	0.12	346	745	6,208
	中 央	0.52	1,069	2,327	4,475
	港	1.80	960	1,890	1,050
	浜 田	3.00	5,895	11,371	3,790
	橋 北	2.62	2,674	5,836	2,227
	海 蔵	3.65	5,498	13,735	3,763
	常 磐	4.89	12,191	27,475	5,619
	川 島	7.89	4,495	12,438	1,576
	神 前	7.40	2,707	7,035	951
	桜	12.02	5,779	15,875	1,321
	県	11.25	2,435	6,891	613
	三 重	11.83	9,100	22,620	1,912
北 消 防 署 管 内	小 計	65.95	44,186	110,811	1,680
	羽 津	8.80	6,962	16,938	1,925
	富 田	4.88	5,243	12,149	2,490
	富洲原	2.04	3,763	9,279	4,549
	大矢知	6.89	7,922	19,256	2,795
	八 郷	10.21	4,885	13,045	1,278
	下 野	7.57	3,390	8,477	1,120
	保 々	10.86	2,586	7,374	679
	朝日町	5.99	3,643	9,894	1,652
	川越町	8.71	5,792	14,399	1,653
南 消 防 署 管 内	小 計	86.24	37,404	91,366	1,059
	塩 浜	7.44	2,977	6,599	887
	日 永	7.23	7,959	18,315	2,533
	四 郷	8.40	10,364	24,300	2,893
	内 部	12.31	6,834	18,062	1,467
	河原田	5.12	1,866	4,624	903
	小山田	18.35	1,866	4,860	265
	水 沢	19.63	1,142	3,407	174
	楠 町	7.76	4,396	11,199	1,443
四日市市	205.58	129,102	313,683	1,526	
受託2町	14.70	9,435	24,293	1,653	

## 四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人 (うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防港出張所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格



昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信・救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、 総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、 予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った

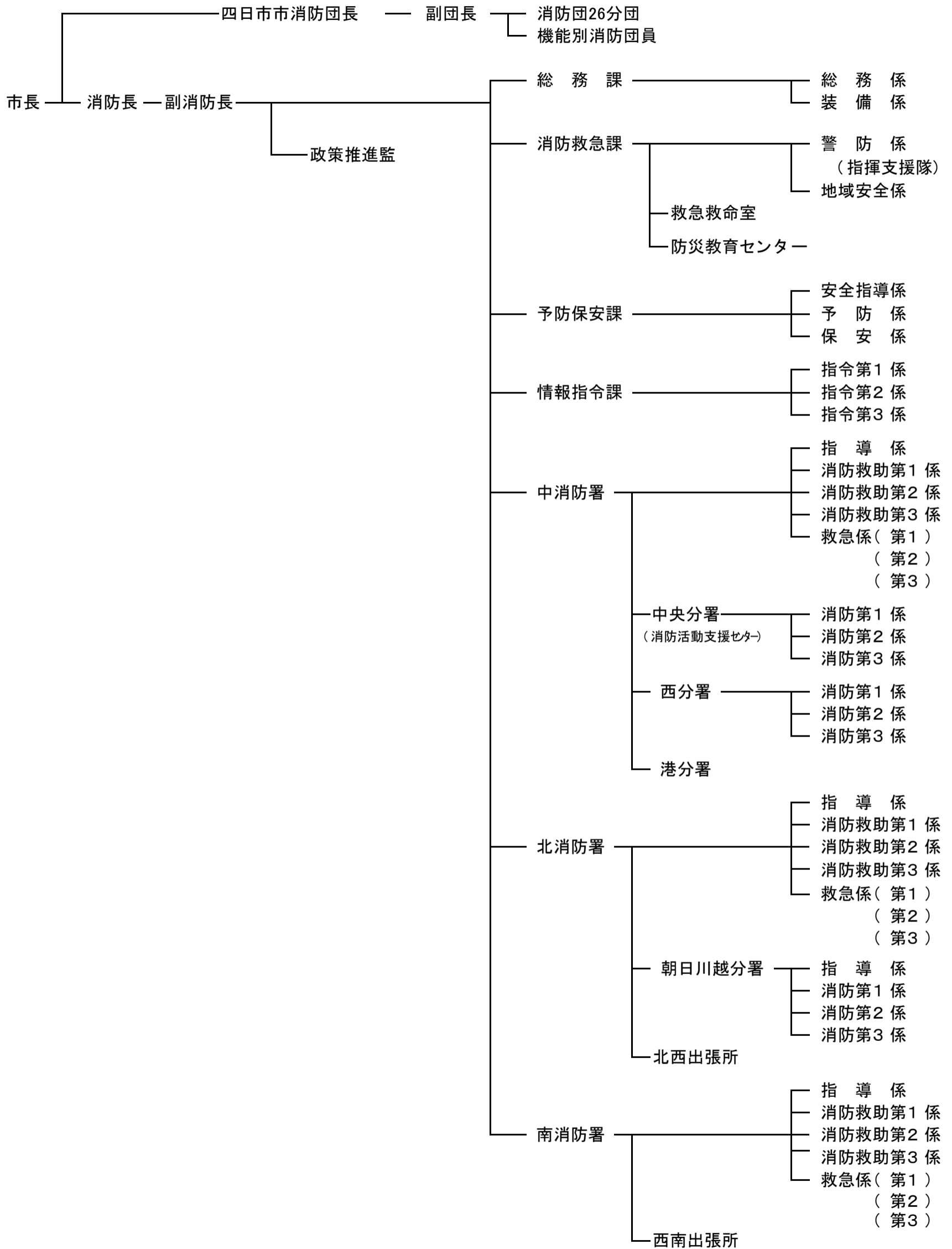
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設設備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(Ⅲ型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年3月31日	鈴木史郎氏消防長を退任
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数320名 特別救助隊に替えて高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署(消防活動支援センター)を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5, 227㎡) 11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行

平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任 楠町消防団解団
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 四日市市消防団の1元化を図るとともに機能別消防団員の開設および各分団定数増を図り定数620名とする 職員6名を国際消防救助隊(IRT)へ登録 西南および北西救急分駐所へ消防ポンプ自動車を配備し、西南及び北西出張所に名称変更した
平成23年4月1日	機構改革により消防次長制を改め副消防長を設置した
平成24年4月1日	機構改革により消防本部消防救急課に救急救命室を設置、警防専門官を改め消防救急専門官を設置した

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉田千九郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中村松次郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹内鉄雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富山光三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉谷徳助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松村佳美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡邊靖三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山口博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島村隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小山佳志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星合隆毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴木史郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北川保之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川北悟司	平成22年4月1日～現在

# 四日市市消防機構図



# 総務

## 一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3,315,899,000 円 (市予算 3.2%)
一 般 会 計 総 予 算	102,774,000,000 円
消 防 職 員 定 数	320 人 以 内
市 職 員 定 数	2,849 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,976 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	27,475 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,407 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	3 台
水槽付ポンプ自動車	7 台
消防ポンプ自動車	6 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	12 台
その他車両	39 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	4 台
小型動力ポンプ	1 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成23年度・24年度消防費歳出予算(当初額)

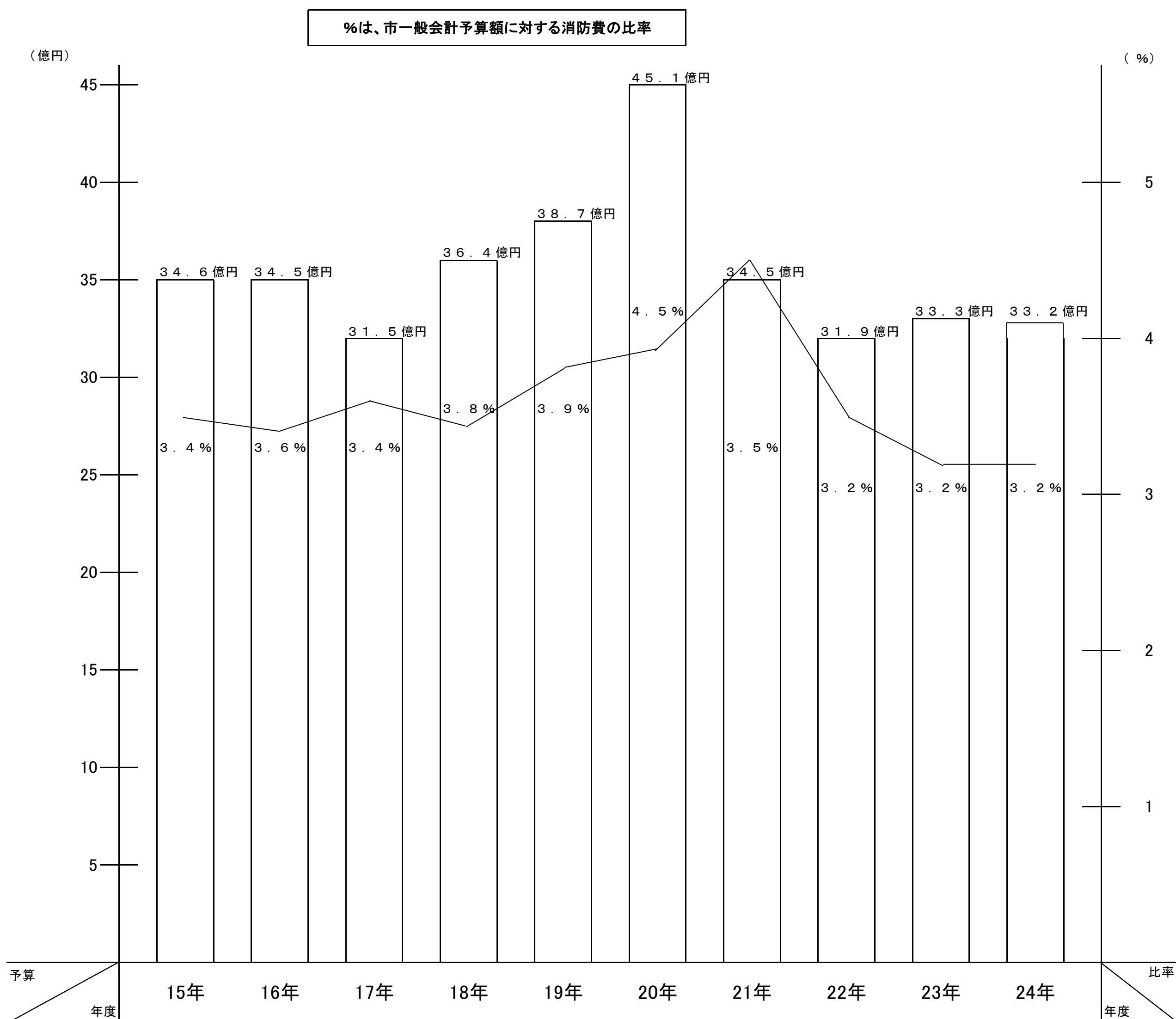
(千円)

款 項 目	節	平成23年度	平成24年度	比較増△減
消 防 費		3,326,125	3,315,899	△ 10,226
消 防 費		3,326,125	3,315,899	△ 10,226
常備消防費		2,966,893	2,981,659	14,766
	給 料	1,165,642	1,195,227	29,585
	職 員 手 当	1,076,213	1,062,355	△ 13,858
	共 済 費	386,881	408,866	21,985
	賃 金	1,284	1,284	0
	報 償 費	24,921	21,875	△ 3,046
	旅 費	6,021	5,871	△ 150
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	115,076	93,091	△ 21,985
	役 務 費	8,964	9,550	586
	委 託 料	76,479	72,780	△ 3,699
	使用料及び賃借料	6,010	5,592	△ 418
	工 事 請 負 費	300	400	100
	原 材 料 費	133	133	0
	備 品 購 入 費	2,670	4,146	1,476
	負担金補助及び交付金	78,753	82,944	4,191
	補償補填及び賠償金	17,501	17,500	△ 1
	公 課 金	45	45	0
非常備消防費		132,458	133,320	862
	報 酬	17,495	17,495	0
	共 済 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,000	2,000	0
	報 償 費	8,037	7,557	△ 480
	旅 費	69,455	71,173	1,718
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	11,109	10,880	△ 229
	役 務 費	4	4	0
	委 託 料	1,634	1,699	65
	使用料及び賃借料	704	497	△ 207
	工 事 費	0	162	162
	備 品 購 入 費	63	63	0
	負担金補助及び交付金	20,778	20,612	△ 166
	補償補填及び賠償金	1	0	△ 1
消防施設費		225,114	195,843	△ 29,271
	需 用 費	0	76	76
	役 務 費	691	471	△ 220
	委 託 料	4,311	990	△ 3,321
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	19,466	42,231	22,765
	原 材 料 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	200,646	152,075	△ 48,571
	負担金補助及び交付金	0	0	0
水 防 費		1,660	5,077	3,417
	報 償 費			0
	旅 費			0
	需 用 費	350	250	△ 100
	委 託 料	650	3,003	2,353
	工 事 請 負 費	0	1,067	1,067
	原 材 料 費	660	757	97
	備 品 購 入 費			0
	負担金補助及び交付金			0

## 消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成20年度	4,511,057	335,660	133,052	13,439	33,904
平成21年度	3,446,055	336,930	135,071	10,228	25,513
平成22年度	3,190,271	337,451	136,199	9,454	23,424
平成23年度	3,326,125	338,041	137,504	9,839	24,189
平成24年度	3,315,899	337,976	138,537	9,811	23,935

## 過去10年間の消防費の推移





消 防 職 員 の 推 移

(平成24年4月1日現在)

年 度 別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
定 員	320	320	320	320	320	
実 員	消防吏員	313	315	315	315	314
	その他の職員	1	1	1	1	
	合 計	314	316	316	316	314
消防職員定員増減	0	0	0	0	0	

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成24年4月1日現在)

階 級 別			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資 格 種 別											
自 動 車 免 許	免 許	大 型	221		2	12	25	69	87		26
		け ん 引	9			1	6	1			1
		大 型 特 殊	11			2	1	3	5		
自動車整備士			5					3	2		
海技士 (航海)			2			1	1				
海技士 (機関)			1			1					
小型船舶操縦士1級			13			1	4	4	3		1
小型船舶操縦士2級			34		1	3	4	8	13		5
小型移動式クレーン			236		2	8	18	43	88		77
玉掛資格			294		4	14	27	69	103		77
ガス溶接資格			266		1	9	22	63	101		70
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士		8				2	2	3		1
	レーダー級海上特殊無線技士		4				2	1	1		
	第2級陸上特殊無線技士		307		7	18	28	71	106		77
救 急	救急I課程		49		5	8	17	13	6		
	救急II課程 (標準課程含む)		267		1	7	20	62	101		76
	救急救命士		54		1	3	8	12	26		4
応急手当指導員			312		7	18	29	74	107		77
衛生管理者			18		2	8	4	4			
第2種酸素欠乏危険作業主任者			43			4	13	21	3		2
潜水士			33				1	6	19		7
予 防 技 術 資 格 者	防火査察		36		4	9	9	10	4		
	消防用設備		19			3	6	7	2		1
	危険物		29		5	6	6	8	3		1
危 険 物 取 扱 者	甲種		8		2	2			3		1
	乙種		186		2	6	9	22	72		75
消 防 設 備 士	甲種		10		1	3		3	3		
	乙種		11			3	1	3	4		
防火対象物点検資格者			4		1		1	1	1		
非破壊検査技術者			1						1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成24年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	消	事		
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	防	務		
			正	監	司	司	司	士	副	士		吏		
			監	監	令	令	令	長	士	長		員		
計		320[1](9)<13>⑮	1	7	17[1]	30(1)	75(1)②	107(1)<7>③		83(6)<5>		①<1>		
消 防 本 部	消 防 長	1	1											
	副 消 防 長	1		1										
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1									
	小 計	18(9)②<1>		1	1	2(1)	5(1)	3(1)①		6(6)		①<1>		
	総 務 課	課 長	1		1									
		課 長 補 佐	1			1								
		総 務 課 付	9(9)				1(1)	1(1)	1(1)		6(6)			
		総 務 係	4				1	2	1					
		装 備 係	3					2	1					
		課 員	②<1>						①				①<1>	
	小 計	22②			2	4	5①	10			1			
	消 防 救 急 課	課 長	1			1								
		課 長 補 佐	1			1								
		警 防 係	15				1	4	10					
		地 域 安 全 係	2①				1	1						
		救 急 救 命 室	3				2				1			
		消 防 救 急 専 門 官	①						①					
	小 計	④						①						
	セ ン タ ー	所 長	①						①					
		所 員	③											
予 防 保 安 課	小 計	15①			2	1	4	7①			1			
	課 長	1			1									
	課 長 補 佐	1			1									
	予 防 係	3①				1		2①						
	保 安 係	5						1	3		1			
	安 全 指 導 係	5						3	2					
情 報 指 令 課	小 計	15			3	1	8	3						
	課 長	1			1									
	課 長 補 佐	3			2	1								
	指 令 係	11						8	3					
消 防 署	小 計	109[1](7)②		1	4[1]	8	23	36<4>①		37<3>				
	計	60[1](4)②		1	[1]	6	12	20<2>①		21<2>				
	本 署	署 長	1		1									
		副 署 長	[1]			[1]								
		指 導 係	4<1>				1	1	1		1<1>			
		消 防 救 助 係	43				3	10	12		18			
		救 急 係	12<3>				2	1	7<2>		2<1>			
		防 災 指 導 員	①						①					
		防 災 指 導 員 (現 地 要 員)	①											
	中 央 分 署	31<3>			2	1	5	11<2>		12<1>				
	西 分 署	分 署 長	1			1								
		分 署 長 員	1			1								
		分 署 員	15				1	6	4		4			
	港 分 署	2			1				1					
	朝 川 分 署	分 署 長	1			1								
		分 署 員	1											
	北 消 防 署	小 計	76<3>②			3	7	18	24<2>		24<1>			
		計	56<4>②		1	1	6	9	20<2>		19<2>			
		本 署	署 長	1		1								
			副 署 長	1			1							
指 導 係			3<1>				1		1		1<1>			
消 防 係			39<2>				3	7	12<1>		17<1>			
救 急 係			12<1>				2	2	7<1>		1			
防 災 指 導 員 (現 地 要 員)		②												
朝 川 分 署		19			1	2	6	8		2				
南 消 防 署		分 署 長	1			1								
	指 導 係	2				1				1				
	消 防 係	16				1	6	8		1				
小 計	57<1>②		1	1	5	14	19<1>		17					
南 消 防 署	署 長	1		1										
	副 署 長	1			1									
	指 導 係	4<1>				1		2<1>		1				
	消 防 係	39				3	11	11		14				
	救 急 係	12				1	3	6		2				
防 災 指 導 員 (現 地 要 員)	②													
市 長 部 局 へ 出 向	6		2	1	1	1	1							

( ) は派遣職員および消防学校入校予定職員、<> は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[ ] は兼務である。  
○数字は再任用職員及び嘱託職員数

## 消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成24年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	320	1	7	17	30	75	107	0	83	0
18	1								1	
19	2								2	
20	2								2	
21	2								2	
22	4								4	
23	3								3	
24	6								6	
25	7						2		5	
26	8						2		6	
27	16						3		13	
28	15						5		10	
29	17						5		12	
30	18						8		10	
31	8						3		5	
32	10						9		1	
33	9						8		1	
34	5						5			
35	10					1	9			
36	11					3	8			
37	8					4	4			
38	7					6	1			
39	9					6	3			
40	11					7	4			
41	12				1	6	5			
42	8				1	3	4			
43	11					3	8			
44	12				1	4	7			
45	4					2	2			
46	5				3	2				
47	8			2	4	1	1			
48	5			1	1	3				
49	3				1	1	1			
50	8				5	3				
51	7			3	2	2				
52	2					2				
53	9			4	3	2				
54	5		1	3		1				
55	12		1	3	3	5				
56	4		2		1	1				
57	8		1		3	4				
58	4		2			2				
59	3			1	1	1				
60	0									
61	1	1								
62	0									

(出向職員含む)

平均年齢 38.3 歳

## 消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成24年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	320	1	7	17	30	75	107	0	83	0
0～1	6								6	
1～2	4								4	
2～3	6	1							5	
3～4	18								18	
4～5	28						1		27	
5～6	20						6		14	
6～7	13						10		3	
7～8	13						10		3	
8～9	8						7		1	
9～10	7						7			
10～11	9						7		2	
11～12	7					1	6			
12～13	7					1	6			
13～14	4					2	2			
14～15	14					4	10			
15～16	4					2	2			
16～17	11					4	7			
17～18	7					5	2			
18～19	6					4	2			
19～20	12				1	7	4			
20～21	27				3	12	12			
21～22	5					2	3			
22～23	4				1	2	1			
23～24	3					3				
24～25	0									
25～26	8			2	2	3	1			
26～27	2			1			1			
27～28	0									
28～29	3			1	2					
29～30	7			3	2	2				
30～31	10		1	2	3	4				
31～32	10			1	6	3				
32～33	13		2	1	5	5				
33～34	8		2	2	3	1				
34～35	4					4				
35～36	5			3	1	1				
36～37	3		1	1		1				
37～38	2				1	1				
38～39	0									
39～40	1					1				
40～41	1		1							
41～42	0									

(出向職員含む)

平均勤続年数 15.5 年

## 消 防 車 両 配 置 状 況

(平成24年4月1日現在)

区分		所属別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	5	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	-	1	-	-	7	1
	化学消防ポンプ自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
高規格救急自動車		-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12	
そ の 他 の 車 両	指揮車	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	4	
	支援車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	4	2
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	広報車	5	1	1	1	1	1	1	-	1	-	-	12	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
合計		15	14	7	5	2	12	4	2	12	2	1	76	29

## 消防用資機材配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		31	15	15		37	12	27	137
酸素呼吸器		5				5			10
エンジンカッター		2	1	2		2	1	2	10
高発泡器		1				2			3
大容量泡放射砲 (1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		5	1	2		2	1	2	13
耐熱服		6				4		6	16
ガス測定器	1	9	1	1		7	1	3	23
各種測定器	4	1				2		1	8
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		3				2		1	6
チェーンソー		2				2	1	1	6
ボートパワー		1				1			2
救命索発射銃		1				1		1	3
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		7	5	3	2	7	2	3	29
排送風機		2	1	2	1	4	1	1	12
エアーソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		1							1
油圧スプレッター		1				1		1	3
マット型空気ジャッキ		7				5		2	14
削岩機		1				2		1	4
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		3				2		7	12
マンホール救助器具		1				1			2

### 高度救助用資機材

画像探索機 1型		1				1			2
画像探索機 2型		1				1			2
熱画像直視装置		1	1			1		1	4
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアーラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	10								10
潜水器具					29				29
高圧空気充てん機		1			1				2

## 救急用資機材配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	6	3	3	1	6	2	7	29
AEDトレーナー	4	7	3	2		5	5	6	32
指導用訓練人形 成人	7	14	5	9		13	12	17	77
小児	5	5	5	6		5	5	6	37
乳児	5	5	5	5		5	5	5	35
救急隊員教育訓練人形		1	1			1	1	1	5

平成23年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校 救助科 火災調査科 高度救助・特別高度救助コース	8/22-10/12 10/18-12/7 2/13-2/24	1 1 1
	2 三重県消防学校 初任科 (48期) 救急科救急課程 (14期) 現場指揮研修 警防科警防課程 (23期) 火災調査課科火災調査課程 (14期) 救助科水難救助課程 (11期) 救助科救助課程 (21期) 特殊災害科特殊災害課程 (4期) 上級幹部科 (4期) 中級幹部科 (20期) 初級幹部科 (33期) 薬剤投与講習	4/07-12/1 9/29-11/24 6/27-28 12/5-12/16 12/7-12/20 5/23-6/3 10/3-11/2 3/8-3/16 12/19-12/22 11/9-11/17 2/27-3/9 1/5-2/9	4 4 1 3 5 2 3 3 3 3 3 5
	3 救急救命士養成所 救急救命東京研修所 (前期) 新規養成 救急救命東京研修所 (後期) 新規養成 名古屋市救急救命養成所 新規養成	4/4-10/7 9/8-3/19 9/5-3/23	3 1 1
	4 全国市町村アカデミー 防災と危機管理～減災と災害対応力の向上～ 住民とのコミュニケーション 情報公開と個人情報保護 人材育成と研修～人材育成リーダーの養成～	4/4-10/7 8/30-9/7 9/27-10/5 11/8-11/18	1 1 1 2
	5 国際文化研修所 消防職員コース 不当要求・行政対象暴力への対応 職場におけるメンタルヘルス～職場復帰への支援～ 未曾有の震災を教訓に災害対策の見直しを 緊急時における情報発信のあり方～クライシス・コミュニケーション～	5/25-6/10 9/7-9/9 10/24-10/26 2/1-2/2 2/29-3/2	1 1 1 2 1
	6 市職員研修所が企画する研修 新任係長級職員研修 新任課長補佐級職員研修 新任課長級職員研修 準管理職候補者研修 管理職候補者研修 ステージ①39歳研修 ステージ②49歳研修 ステージ③54歳研修 自治会館組合「情報処理研修」 〃「コミュニケーションマインド向上研修」 〃「職場の活性化を考えるセミナー」 〃「プレゼンテーションスキル研修」 四市合同研修	5/10, 23, 27 5/11, 24, 30 5/12, 26, 31. 6/30 5/20, 7/15, 8/1 7/12, 19, 22, 8/4, 5, 10/19 7/5, 26 7/7, 28 7/8, 29 7. 27, 8/1, 2, 9, 29, 9/2 1/11 11/16 1/19, 20 11/24	8 6 4 3 6 1 2 1 1 1 1 1 1 2
	7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会 火災調査研究発表会 消防長研修会 違反是正研究会 企業防災対策指導者研修会 救急コ・メディカルセミナー 鉄道災害事故救助講習会	10/20 8/26 11/16 2/14 11/14 12/17	4 1 5 1 4 2
	8 三重県消防長会が関係する研修 違反是正研修会 違反是正に関する事例演習会 J P T E Cプロバイダーコース スタティックロープレスキューセミナー 消防長研修会	8/23 2/3 12/22 10/24, 25 8/5	3 2 2 1 5
	9 危険物セミナー 事故防止対策セミナー 保安技術講習会 事故事例セミナー 屋外タンク実務担当者講習会	10/28 7/28, 29 2/17 11/25	1 2 1 1
	10 その他派遣研修 日本救急医学会中部学術集会(第13回) 調査技術会議 新規採用職員研修 救急救命士就業前病院研修 救急救命士気管挿管病院実習 救急救命士薬剤投与病院実習 救急科救急課程修了後病院研修 昇任予定者研修	6/26 7/29 4/1-6、5/2、9/12 4/6-6/13, 10/11-11/9, 10/24-11/22, 11/15-12/14 5/9- 2/9- 2/10-3/31 12/6 3/8	1 3 4 8 2 5 4 16
資格取得研修	11 資格取得など 1 大型自動車運転免許 (新規) 2 潜水士免許 (新規) 3 2級小型船舶操縦士免許 (更新講習) 4 危険物取扱者保安講習 5 予防技術資格者 (新規)	5/18-取得まで 5/30, 31, 6/14 11/5, 12/3, 12/11, 12/17 7/5, 10/5, 11/16 2/26	7 2 6 5 7
視察研修	12 総務省消防庁主催 国際消防救助隊の実践的訓練 先進都市視察 静岡県沼津市 新潟県新潟市 東京都 日本消防会館	10/28-21 6/30 10/17-19 7/30, 31	2 2 1 1

# 消防プリセプターシッププログラム

## プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

## 消防プリセプターシッププログラム策定の目的

- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

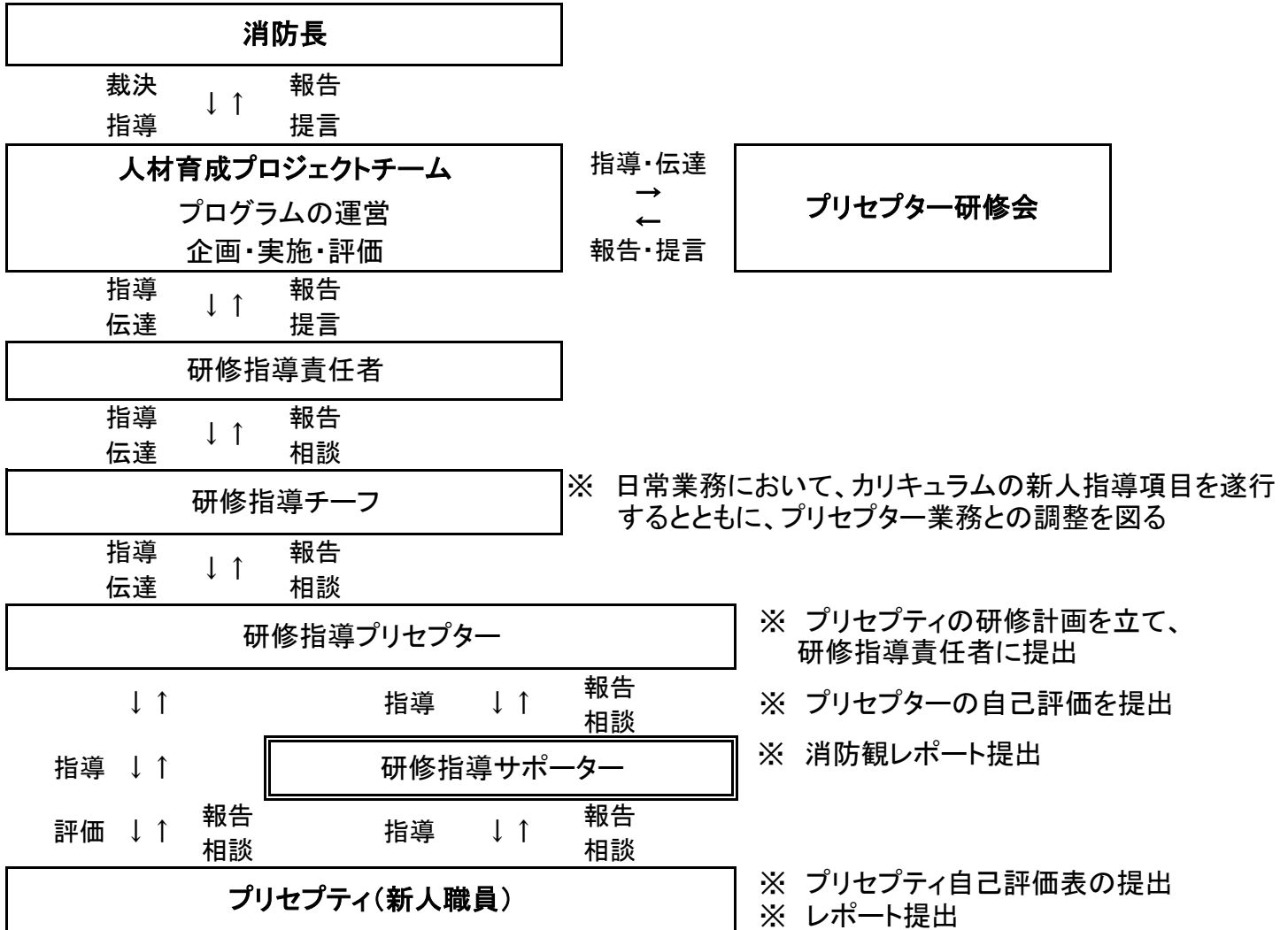
## 消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。



# プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



## 3 プログラムの運営

### 「人材育成プロジェクトチーム」

#### 1) 構成

責任者 総務課長  
委員長 政策推進監

#### 2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

## 4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

## 消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する系の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する系の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する系の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

## 平成23年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
23	4	7	<b>初任科生入校</b> 於: 三重県消防学校 第48期生 4名が入校、12月1日卒業	8	<b>三重県消防職員意見発表会</b> 於: 伊賀市
		16.17	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習117名、乙種防火管理講習12名が受講	11	<b>第1回三重県図上訓練</b> 於: 三重県庁
		18	<b>防災管理講習</b> 防災管理新規講習29名が受講	19	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(全員協議会)</b>
	6	1~30	<b>危険物安全管理強調月間</b> 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施		
		6	<b>優良危険物事業所表彰</b> 平成23年度優良危険物事業所の4事業所を消防長表彰		
		28.29.30	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理再講習14名、甲種防火管理新規講習93名が受講	23	<b>消防安全衛生委員会</b>
	7	11	<b>安全講演会</b> 『緊急自動車における緊急走行時の安全対策について』 講師: 四日市南警察		
		17	<b>第48回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ</b> 於: 中央緑地公園 25分団が出場し競技を実施 第1位: 水沢分団 第2位: 保々分団 第3位: 神前分団	29	<b>愛知県消防通信連絡協議会総会</b> 於: 名古屋市市役所
	8			5	<b>消防長研修会</b> 『消防幹部としての心構えと実践について』 於: 桑名市消防本部
		27	<b>市民総ぐるみ総合防災訓練</b> 於: 中部中学校	11	<b>第2回三重県図上訓練</b> 於: 三重県庁 第40回消防救助技術東海地区指導会 於: 三重県消防学校 【中止】 第40回全国消防救助技術大会 於: 埼玉県 【中止】
	9	1	<b>石油コンビナート・海上防災訓練</b> 於: 協和発酵ケミカル四日市工場 午起製造所及び周辺海域	4	<b>三重県総合防災訓練</b> 於: 名張・上野市
	10			6	<b>第8回三重県警防技術交換会</b> 於: 三重県消防学校

			12	三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於:三重県消防学校	
		19.2	防火管理講習 甲種防火管理新規講習105名、乙種防火管理講習20名が受講	14,15	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於:静岡県静岡市ほか
	11	1	安全講演会 『消防活動における安全管理』 講師:名古屋市消防局	17,18,27	警防救助技術発表会
		5	防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。	29,30	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 於:徳島県小松島市
		9~15	秋の火災予防運動		
		9	特別消防訓練 於:パワーシティ	17	三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練) 於:みえ川越インター
	12	29~30	年末特別警戒		
24	1	8	平成24年消防出初式 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	8	朝日町・川越町合同出初式 於:川越町
		26	第57回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施	16	三重県国民保護図上訓練 於:三重県庁
	2	8.9.10	防火管理講習 甲種防火管理再講習20名、甲種防火管理新規講習106名、乙種防火管理講習12名が受講	31.1.3	警防技術競練会 9 第3回三重県図上訓練 於:三重県庁
		21	特別消防訓練 於:近鉄百貨店 四日市店		
	3	1~7	春の火災予防運動		

## 平成24年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、コンビナートの防災対策をより一層推進するとともに、大規模災害発生時における初動体制の強化を図ります。

このことから、火災の延焼防止及び救命率の向上並びに各種災害に迅速かつ的確に対応するため、年次計画に基づく車両更新及び消防分団車庫の改築等を行うとともに、消防救急無線のデジタル化への整備を推進します。

その他、救急救命士の養成など、救急業務の高度化を推進するとともに、耐震性貯水槽の整備を図ります。

### 1. 消防車両配備・更新事業について

中消防署の水槽付消防ポンプ自動車の更新にあたり、消防車両の機能を強化するため、化学消火機能及び圧縮空気泡消火装置を兼ね備えた多機能型の車両を導入します。

さらに、北西出張所の消防ポンプ自動車及び小山田分団の消防分団車を更新するとともに、中消防署及び西分署に配備されている高規格救急自動車を更新します。

### 2. 消防分団等整備事業について

昭和53年建築の河原田分団車庫を移転改築するとともに、小山田分団車庫の改修を行います。また、災害活動時における消防団員の安全を確保するための資機材を整備します。

### 3. 消防救急無線デジタル化整備事業について

平成28年5月末の消防救急無線アナログ周波数の使用期限に向け、従来のアナログ方式からデジタル方式へと更新する必要があるため、平成24年度は共通波(全国の消防車と通信可能)の整備を行います。

### 4. 救急業務の高度化事業について

平成4年度から救急救命士の養成を開始し、現在、救急救命士として51名の職員を各消防署等へ配置しています。救急車に常に救急救命士を配置できる体制と救急管理部門の強化を図るため、新たに5名の救急救命士を養成します。

### 5. コンビナート防災対策事業について

東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模災害時におけるコンビナート事業所との情報連絡体制の強化を図るため、新たに無線通信設備を導入し通信体制の整備を図ります。

### 6. 耐震性貯水槽整備事業について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽を整備します。平成24年度は北山町及び桜町地内に60トン型の耐震性貯水槽を設置します。

## 相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

### (1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

### (2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

### (3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋・神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線にかかる消防相互応援協定	平成20年2月23日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合

警

防

# 一 目 統 計

平成 2 3 年 中

火 災 件 数 1 2 4 件

損 害 額 2 2 0, 4 8 9 千円

出 火 率 3. 7  
【平成 2 3 年 1 月 1 日 現 在 で 川 越 ・ 朝 日 を 含 む 3 3 8, 3 1 3 人 で 算 出】

建 物 焼 損 床 面 積 1, 9 2 6 m<sup>2</sup>

建 物 焼 損 表 面 積 7 0 6 m<sup>2</sup>

最 も 多 か っ た 火 災 原 因 放 火 ( 疑 い 含 む ) 4 3 件

火 災 種 別 件 数

建 物 火 災 6 1 件

林 野 火 災 3 件

車 両 火 災 1 6 件

船 舶 火 災 0 件

そ の 他 火 災 4 4 件  
( 4 4 件 中 枯 草 火 災 2 7 件 )

火 災 多 い 少 な い

火 災 の 多 か っ た 月 2 月 2 5 件

火 災 の 少 な か っ た 月 1 1 月 3 件

火 災 の 多 か っ た 時 間 帯 1 1 時 ~ 1 2 時 1 3 件

火 災 の 少 な か っ た 時 間 帯 4 時 ~ 5 時 ・ 2 3 時 ~ 0 時 0 件

火 災 の 一 番 多 か っ た 日 2 月 8 日 7 件



## 平成23年中の火災概要

### 1 火災の概要

平成23年中の火災は、124件で昨年の122件と比較して2件の増加となり、詳細は建物火災が14件減少となり、車両火災が3件及びその他火災が15件それぞれ増加となりました。また、その他火災の内、枯草火災は16件の増加となりました。

火災種別では、建物火災が61件と全火災の49.2%を占め、車両火災が16件で12.9%、林野火災が3件で2.4%、その他火災が44件で35.5%となっています。その他火災の内、枯草火災は27件でした。なお、船舶火災は発生していません。

火災の損害は、焼損床面積が1,926㎡、焼損棟数が86棟、損害額が約2億2,048万円、死者が5人、負傷者が10人となっています。

損害額は、前年の1億6,491万円と比較して5,558万円の増加となったのに対し、焼損床面積は、前年の2,265㎡と比較して339㎡の減少となっています。

出火率（人口1万人当たりの出火件数をいう。）は、3.7で、前年より0.1の増加となりました。

月別発生状況は、2月が25件と最も多く、次いで1月が21件となっています。一方11月が3件と最も少ない月でした。

### 2 出火原因

出火原因は、放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）が43件と全体の35%を占め、昨年に引き続き出火原因の第1位でした。続いて、こんろ、たばこ、たき火がそれぞれ8件で6%となっています。

### 3 火災による死者

火災による死者は、5件の火災で5人発生し、前年より3人の減少となりました。死者の発生した経過別では、逃げ遅れによるものが1人、着衣着火が1人、放火自殺が2人、その他1人となっています。

また、年齢別では、60歳代が3人、70歳代、80歳代がそれぞれ1人となっています。

### 4 火災による負傷者

火災による負傷者は、9件の火災で10人発生し、前年より13人の減少となりました。

また、年齢別では、40歳代が4人、50歳代が1人、60歳代が2人、70歳代が2人、80歳代が1人となっています。

負傷者の発生した経過別では、初期消火中が8人、作業中が1人、その他が1人となっています。

### 5 初期消火の実施

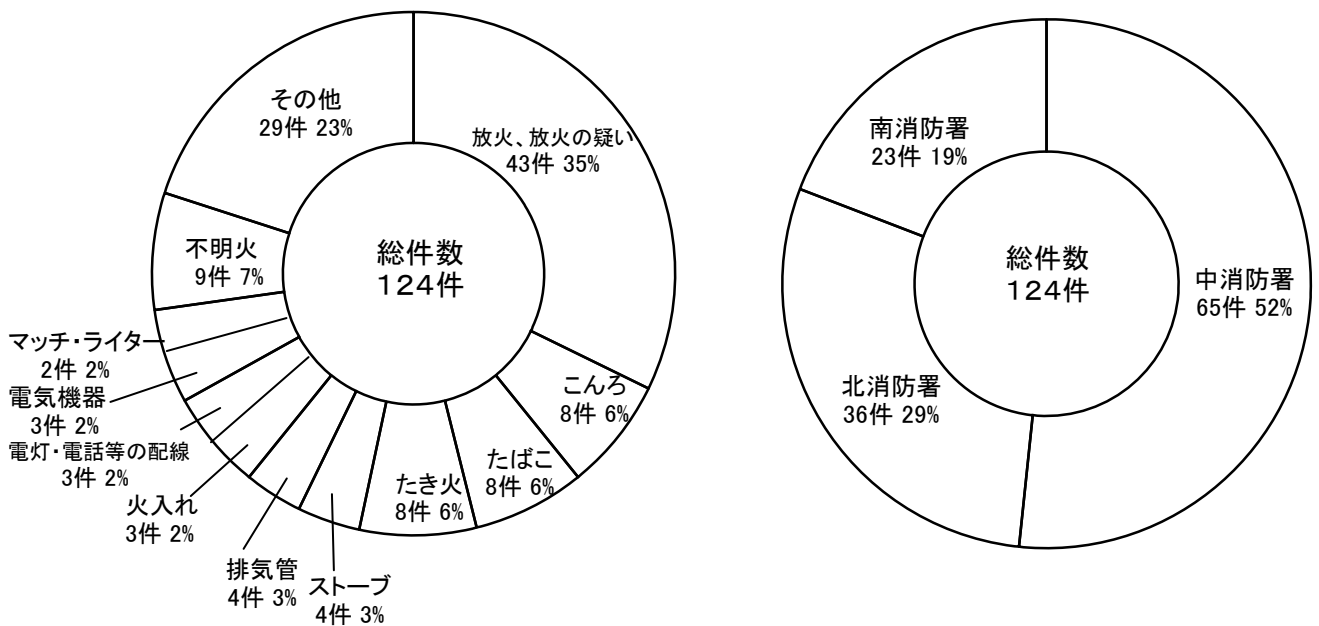
124件の火災において75件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは42件となっており、昨年より10件の減少となりました。初期消火は定着してきていますが、今後もより効果的な初期消火が必要です。

初期消火器具	消火器	水道ホース等	濡れタオル等	もみ消した	屋外消火栓	その他
実施件数	29	31	4	2	1	8
成功・効果あり	19	15	3	1	0	4

# 火 災 概 要

(平成23年中)

火 災 件 数	124 件
建 物 火 災 件 数	61 件
建 物 以 外 火 災 件 数	63 件
建 物 焼 損 床 面 積	1,926 m <sup>2</sup>
建 物 焼 損 表 面 積	706 m <sup>2</sup>
林 野 焼 損 面 積	70 a
損 害 額	220,489 千円
死 者	5 人
30 日 死 者	0 人
負 傷 者	10 人



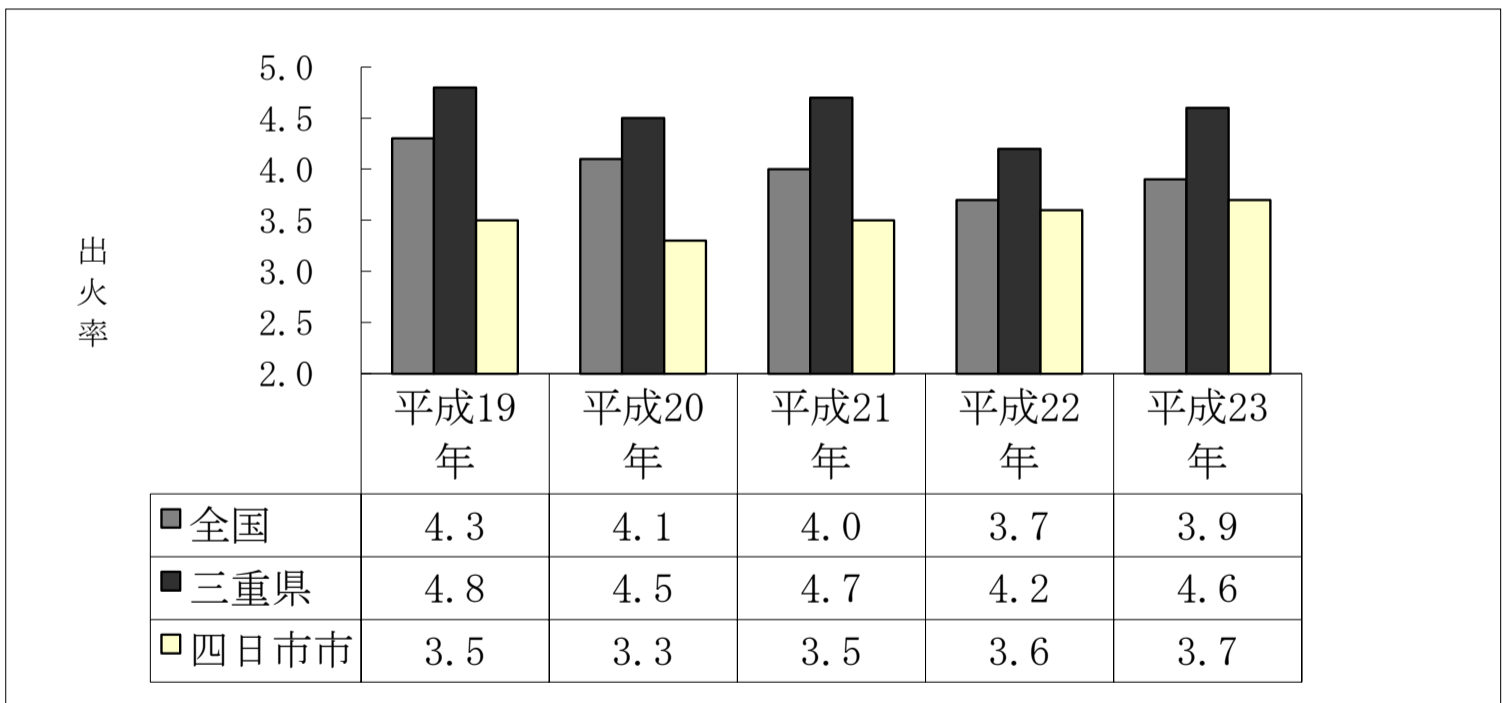
※グラフについては、小数点以下四捨五入

## 火 災 発 生 状 況 比 較

区 分		年 別	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
全 国	火 災 件 数		54,582	52,394	51,139	46,620	50,006
	出 火 率		4.3	4.1	4.0	3.7	3.9
	一件当たり損害額 (千円)		2,311	2,069	1,821	2,183	2,256
三 重 県	火 災 件 数		889	829	863	771	847
	出 火 率		4.8	4.5	4.7	4.2	4.6
	一件当たり損害額 (千円)		2,745	2,741	1,643	1,692	2,041
四日市市 (朝日、 川越町含)	火 災 件 数		118	111	119	122	124
	出 火 率		3.5	3.3	3.5	3.6	3.7
	一件当たり損害額 (千円)		7,148	2,081	1,620	1,351	1,778

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

## 出 火 率 比 較



地区別火災発生状況

(平成23年中)

火災状況  地区別	火災件数							焼損棟数								り災世帯数				焼損面積			死傷者			損害額 (千円)													
	建物	外						計	火元				類焼				全損	半損	小損	計	建物焼損床面積 (㎡)	建物焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	30日死者	負傷者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	計				
		船舶	航空機	車両	林野	その他	計		全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全焼	半焼	部分焼											ぼや	計											
		計	計	計	計																																		
合計	61	0	0	16	3	17	27	124	10	6	15	30	61	2	2	12	9	25	10	6	44	60	147	1,926	706	70	5	0	10	120,271	89,335	0	0	8,332	0	1,105	1,446	220,489	
中消防署管内	38	0	0	6	2	6	12	64	4	4	11	19	38	1	2	4	6	13	4	4	18	26	62	1,229	176	2	2	0	5	71,438	13,742	0	0	3,985	0	719	1,446	91,330	
共同	7	0	0	0	0	1	0	8	0	1	2	3	6	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	42	1	0	0	0	2	21,454	1,506	0	0	0	0	20	0	22,980	
同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中央	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	48	0	0	1	0	0	3,235	287	0	0	0	0	0	0	3,522	
港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
浜田	8	0	0	2	0	1	0	11	0	0	1	7	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	0	1	0	0	377	166	0	0	3,128	0	198	0	3,869	
橋北	2	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	182	0	0	0	0	0	0	182	
海蔵	3	0	0	0	0	1	0	4	0	1	2	0	3	0	1	2	1	4	0	1	2	3	12	515	52	0	0	0	1	12,072	1,023	0	0	99	0	51	0	13,245	
常磐	4	0	0	2	0	1	0	7	1	0	2	1	4	0	0	2	1	3	1	0	7	8	15	49	104	0	0	0	1	10,203	910	0	0	148	0	59	0	11,320	
川島	2	0	0	0	0	0	3	5	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	4	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	6	
神前	2	0	0	1	0	0	2	5	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	215	10	0	0	0	1	4,652	6,901	0	0	200	0	385	0	12,138	
桜	4	0	0	0	1	1	0	6	1	0	1	2	4	0	1	0	0	1	1	1	1	0	2	5	109	1	2	0	0	0	2,272	1,916	0	0	0	0	5	1,446	5,639
県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重	5	0	0	1	1	0	6	13	1	1	1	2	5	1	0	0	2	3	2	1	3	6	17	248	3	0	0	0	0	17,168	850	0	0	410	0	1	0	18,429	
北消防署管内	15	0	0	3	0	7	10	35	4	2	1	8	15	0	0	7	3	10	6	2	22	30	77	537	524	0	2	0	4	42,415	73,892	0	0	1,145	0	291	0	117,743	
羽津	3	0	0	1	0	1	2	7	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	3	1	9	13	35	125	479	0	0	0	1	29,962	3,630	0	0	308	0	140	0	34,040	
富田	2	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	1	1	0	0	0	0	6	31	0	0	0	0	1	0	38	
富洲原	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	1	3	1	0	4	5	14	169	26	0	0	0	2	4,912	2,700	0	0	0	0	0	0	7,612	
大矢知	3	0	0	0	0	1	1	5	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	10	85	1	0	0	0	3,138	119	0	0	0	0	0	0	3,257	
八郷	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	10	155	0	0	0	0	0	0	165	
下野	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保々	1	0	0	1	0	0	2	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	931	189	0	0	200	0	0	0	1,320	
朝日町	1	0	0	1	0	1	2	5	1	0	0	0	1	0	0	4	1	5	1	0	5	6	14	128	12	0	1	0	0	2,860	350	0	0	615	0	0	0	3,825	
川越町	2	0	0	0	0	1	3	6	1	0	0	1	2	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	20	3	0	0	0	1	596	66,718	0	0	22	0	150	0	67,486	
南消防署管内	8	0	0	5	1	4	5	23	2	0	3	3	8	1	0	1	0	2	0	0	4	4	8	160	6	68	1	0	1	6,418	1,701	0	0	1,099	0	95	0	9,313	
塩浜	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	0	0	0	0	0	2,836	536	0	0	0	0	6	0	3,378	
日永	1	0	0	0	0	0	2	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	2,262	0	0	0	0	0	0	0	2,262	
四郷	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	
内部	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348	0	0	0	348	
河原田	1	0	0	0	0	2	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	1	93	947	0	0	0	0	0	0	1,040	
小山田	1	0	0	2	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	10	0	48	1	0	0	46	84	0	0	81	0	0	0	211	
水沢	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
楠	3	0	0	1	0	1	1	6	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5	20	1	0	0	0	0	1,181	130	0	0	670	0	89	0	2,070	
高速道路	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,103	0	0	0	2,103	

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成23年中)

火災状況		出火件数						焼損棟数				焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災	損害額(千円)										
月・曜日		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m <sup>2</sup> )	建物 表面積(m <sup>2</sup> )	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損	人員	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
		合計		124	61	3	16			44	86	12	8	27	39	1,926	706	70	5	10	60	10	6	44	147	220,489	209,606					1,105
月別	1月	21	8	1				12	15	1	1	6	7	153	115		2		12	1	1	10	26	14,679	14,473					137	69	
	2月	25	11	1	3			10	16	1	3	6	6	716	65	20		2	6	1	1	4	17	21,708	19,782					1,611	315	
	3月	12	6					6	11	4		3	4	213	30	48		4	7	2		5	16	9,389	9,106					143	140	
	4月	12	5	1				6	6			2	4	15	2	2		1	4		1	3	9	3,768	2,322						1,446	
	5月	5	2		1			2	1	1				208				1						11,333	10,747					200	386	
	6月	6	4		2				5	1	1	2	1	60	7				1				1	3,523	2,908					615		
	7月	6	4		1			1	7	2		2	3	210	1			1	3	2		1	10	15,563	15,296					78	189	
	8月	12	7		3			2	10		2		8	118	1				5		1	4	12	22,000	21,675					319	6	
	9月	7	4		2			1	5	1		2	2	52	1				5	1		4	9	5,720	4,669					1,051		
	10月	8	4		2			2	4	1		1	2	33						1				75,174	71,924					3,250		
	11月	3	2		1			2	2			1	1	99	479			1	14	3	1	10	38	33,669	32,820					849		
	12月	7	4		1			2	4		1	2	1	49	5		3		3		1	2	9	3,963	3,884					79		
不明																																
合計		124	61	3	16			44	86	12	8	27	39	1,926	706	70	5	10	60	10	6	44	147	220,489	209,606					1,105	1,446	
曜日別	日曜日	13	7	1	2			3	7	1	2	3	1	293	484	2	2	1	17	3	3	11	42	45,338	44,948					390		
	月曜日	13	8		4			1	9	2	2	5	6	62	3	48		6	1		5	11	72,290	71,533					757			
	火曜日	29	13		3			13	20	2	2	5	11	226	115			1	10	2		8	24	41,553	40,276					858	419	
	水曜日	5	2		1			2	2			1	1		1		1	1				1	4	3,184	124					3,050	10	
	木曜日	25	14	2				9	20	1		8	11	226	15	20	1	1	11	1		10	26	11,369	11,223					146		
	金曜日	22	9		2			11	19	4	2	7	6	713	87		1	4	11	2	2	7	27	27,163	24,877					700	140	
	土曜日	16	8		4			4	9	2	2	1	4	406	1			2	4	1	1	2	13	19,592	16,625					2,577	390	
不明		1						1																								
合計		124	61	3	16			44	86	12	8	27	39	1,926	706	70	5	10	60	10	6	44	147	220,489	209,606					1,105	1,446	
時間帯別	0～1時	6	4		1			1	5	2		2	1	216	5			1	1			1	5	12,260	11,864					11	385	
	1～2時	4	3					1	6	1		3	2	49	104				7	1		6	9	11,222	11,025					137	60	
	2～3時	1	1					1	1			1		30										2,262	2,262							
	3～4時	4	2		2			5	2	1		2		262	1				3	2	1		8	18,060	16,187					1,872	1	
	4～5時																															
	5～6時	4	1					3	1				1						1			1	5	10	10							
	6～7時	3	2		1			2	2		1		1	25					1			1	1	4,541	4,539					2		
	7～8時	5	3		1			1	9	3	1	3	2	298	29		1	3	7	3		4	18	10,869	10,632					222	15	
	8～9時	7	2		1			4	3				3				1		2		1	1	3	3,780	1,779					549	6	
	9～10時	4	2	2				2	1				1	14		2.0			1			1	2	865	744					121		
	10～11時	5	2					3	2			2		96					1			1	5	3,564	3,564							
	11～12時	13	4		1			8	4			1	3	99	480			2	13	3	1	9	35	100,016	99,516					500		
	12～13時	2	1					1	1			1		3					1			1	1	378	378							
	13～14時	11	4		1			6	4			1	3	46	3				2			2	2	1,345	580					615	150	
	14～15時	9	6					3	6	1		1	4	11	2	48.0		1	2			2	6	290	270						20	
	15～16時	9	4	1	1			3	4			1	3		1	20.0			1			1	3	382	116					78	188	
	16～17時	8	3		3			2	7		2	3	2	499	57			1	3		1	2	9	16,527	12,678					3,798	51	
	17～18時	5	4					1	8	1		4	3	128	12		1	1	7	1		6	19	3,254	3,254							
	18～19時	5	2		1			2	2		1	1	1	48			1		2		1	1	4	3,662	3,522					140		
	19～20時	6	4		1			1	4		1	2	1	22	1				2			2	3	6,762	6,373					300	89	
	20～21時	5	3		1			1	4	1		2	1	48	10			1	1			1	4	1,971	1,923					48		
	21～22時	1						1																								
	22～23時	1	1					1					1							1			3	4	4							
23～0時																																
不明		6	3		1			2	5		1	4		32	1		1	1			1	2	18,465	18,386					79			

出火原因別火災発生概況

(平成23年中)

原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
													床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	面積(a)															
合計	124	61	3	16			44	86	12	8	27	39	1,926	706	70	5	10	60	10	6	44	147	220,489	209,606		8,332		1,105	1,446	
たばこ	8	6					2	9	1	1	3	4	219	26		1	2	10	1	1	8	27	11,338	11,338						
こんろ	8	8					12		2	4	6	51	103			1	7				7	13	31,004	30,808		137		59		
かまど																														
風呂かまど																														
炉	1	1					1			1		15											395	395						
焼却炉	1	1					1	1				14											865	744		121				
ストーブ	4	4					12	3	1	6	2	264	25		1	2	9	3			6	22	7,063	7,036		22			5	
こたつ																														
ボイラー																														
煙突・煙道																														
排気管	4			4																			751			751				
電気機器	3	2		1			2				2						2			2	10	23	12		11					
電気装置	2	1		1																		8			8					
電灯・電話等の配線	3	3					3	1		1	1	121					1			1	2	4,094	4,094							
内燃機関																														
配線器具																														
火あそび	1						1																1					1		
マッチ・ライター	2	1		1			5		2	2	1	499	52			1	2		1	1	7	13,273	12,508		714			51		
たき火	8	2					6	2			2		1																	
溶接機・切断機	1						1									1						10							10	
灯火																														
衝突の火花																														
取灰																														
火入れ	3		2				1																							
放火	16	12		1			3	12		2		10	110	2	2		3		2	1	6	7,993	7,894		79			20		
放火の疑い	27	6	1				20	7	2	5			289	12			2			2	3	15,016	14,631					385		
その他	23	9		8			6	12	1		2	9	49	4		2	6	1	1	4	13	81,412	73,293		6,189		484	1,446		
不明	9	5					4	8	3		3	2	295	481	48		1	18	5	1	12	44	47,243	46,853		300		90		

## 過去10年間 年別主な火災原因

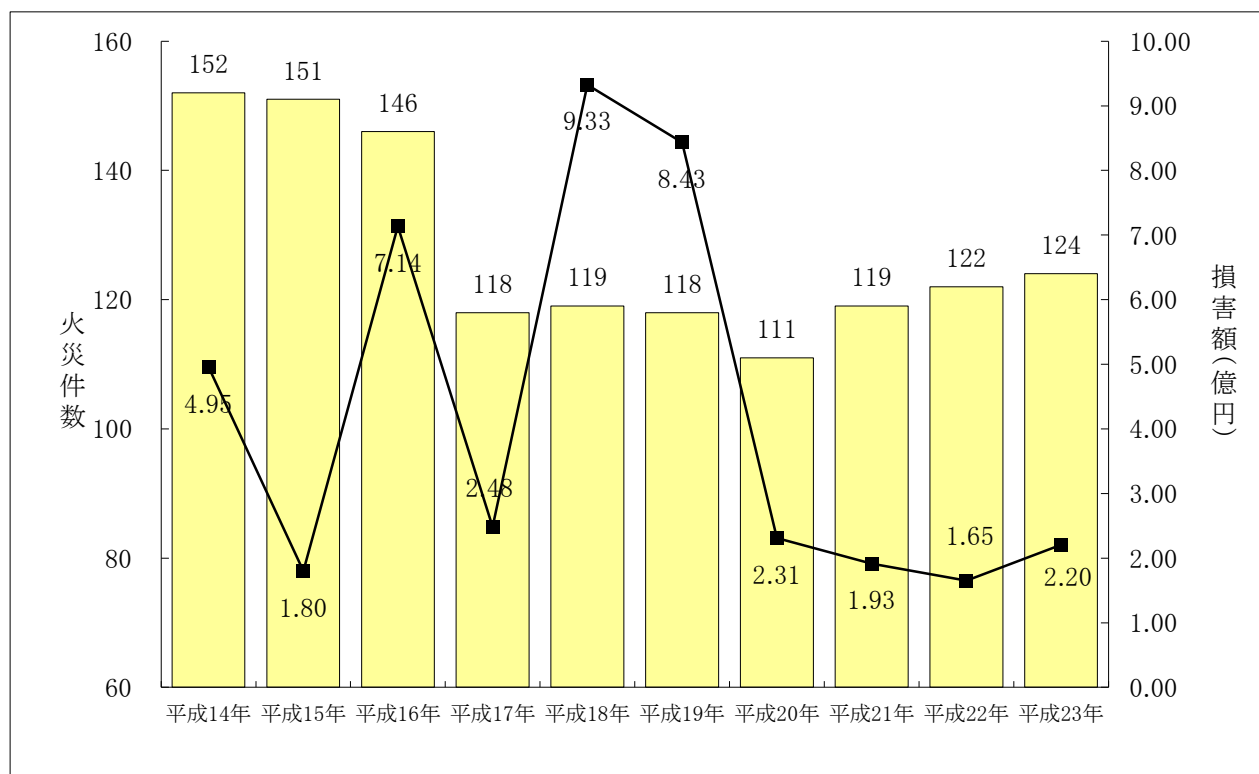
年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成14年	152件	たき火 30件	放 火 (放火の疑い含む) 30件	こ ん ろ 19件
平成15年	151件	放 火 (放火の疑い含む) 47件	たき火 19件	た ば こ 13件
平成16年	146件	放 火 (放火の疑い含む) 42件	たき火 17件	た ば こ 17件
平成17年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 34件	電 気 機 器 9件	た ば こ 9件
平成18年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 32件	こ ん ろ 10件	た ば こ 10件
平成19年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 24件	た ば こ 15件	こ ん ろ 11件
平成20年	111件	放 火 (放火の疑い含む) 25件	こ ん ろ 12件	た ば こ 10件
平成21年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 29件	こ ん ろ 13件	た ば こ 8件
平成22年	122件	放 火 (放火の疑い含む) 21件	こ ん ろ 12件	た ば こ 12件
平成23年	124件	放 火 (放火の疑い含む) 43件	こ ん ろ 8件	た ば こ 8件

## 過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火災件数						損害額 (千円)	損害面積		死傷者	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積(m <sup>2</sup> )	林野 (a)	死者	負傷者
平成14年	152	80	8	23	1	40	495,482	4,717 <375>	76	4	29
平成15年	151	74	9	28	0	40	179,937	1,835 <757>	341	8	22
平成16年	146	68	6	28	0	44	713,516	6,823 <396>	60	8	19
平成17年	118	61	1	19	0	37	248,221	2,186 <265>	1	6	26
平成18年	119	77	2	13	0	27	932,595	4,534 <270>	71	8	23
平成19年	118	76	2	19	0	21	843,475	4,280 <608>	6	6	16
平成20年	111	67	0	17	1	26	231,055	1,598 <147>	0	13	15
平成21年	119	63	5	15	0	36	192,819	2,287 <451>	21	7	15
平成22年	122	75	5	13	0	29	164,908	2,265 <272>	10	8	23
平成23年	124	61	3	16	0	44	220,489	1,926 <706>	70	5	10
平均	128	70	4	19	0	34	422,250	3,245 <425>	66	7	20

平均の小数点以下は四捨五入

※< >は建物焼損表面積





## 海上・沿岸防災等（IBK委託状況）

（平成23年中）

種 別		月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災		0												
	水難救助		0												
	流出油		1					1							
	その他		0												
警 防	警 備		1								1				
	警 戒		0												
	警防調査		0												
	その他		0												
予 防	広 報		0												
	予防調査		0												
	その他		0												
訓 練	災害防御		1								1				
	航 海		0												
	操 船		0												
	水難救助訓練		11	1	1				3		3			2	1
	その他		1	1											
合 計			15	2	1	0	0	1	3	0	5	0	0	2	1

## 火災・救助以外の消防車両の出動

平成23年中

分類	件数	説明
交通支援	153	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	1015	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たきび	58	たきび等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	49	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	25	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	6	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	85	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	6	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	11	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	71	火災調査の結果、火災に至らないもの
搜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う搜索等による出動
その他	77	「警戒」から「搜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	1556	

# 消 防 水 利 状 況

(平成24年4月1日)

	合 計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プール	池沼	河川	海運河	
			双口	単口	双口	単口		m3 耐震	m3 耐震	m3 耐震	m3 以上	m3 以上	m3 未満							
<b>合 計</b>	<b>7400</b>	<b>6567</b>	<b>90</b>	<b>97</b>	<b>66</b>	<b>6314</b>	<b>599</b>	<b>39</b>	<b>37</b>	<b>175</b>	<b>8</b>	<b>227</b>	<b>113</b>	<b>234</b>	<b>52</b>	<b>74</b>	<b>14</b>	<b>76</b>	<b>18</b>	
中消防署管内	共同	152	138	0	1	4	133	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	130	116	5	3	2	106	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜田	268	246	4	1	6	235	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋北	148	127	1	5	4	117	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海蔵	217	202	1	0	1	200	10	1	1	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常磐	305	275	12	5	3	255	18	0	3	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川島	205	183	0	0	2	181	19	0	2	1	0	14	2	3	0	1	1	1	0
	神前	210	190	0	0	1	189	17	0	2	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	287	260	0	0	1	259	19	0	0	6	0	11	2	8	0	3	0	5	0
	県	254	205	0	0	1	204	41	0	2	17	0	16	6	8	0	2	0	6	0
	三重	429	372	6	5	6	355	45	0	0	25	0	13	7	12	0	6	0	6	0
小計	2679	2378	29	20	33	2296	218	17	11	66	3	88	33	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽津	299	279	4	17	9	249	12	2	1	2	0	4	3	8	2	3	1	1	1
	富田	245	218	4	2	0	212	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富洲原	245	214	6	1	0	207	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	297	274	0	1	3	270	17	0	2	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八郷	296	255	3	3	0	249	38	0	1	12	0	18	7	3	0	3	0	0	0
	下野	209	188	1	0	0	187	18	0	0	10	0	3	5	3	0	2	0	1	0
	保々	258	220	0	0	0	220	34	0	0	5	1	18	10	4	0	2	1	1	0
	朝日	284	232	0	13	7	212	49	0	0	7	0	22	20	3	0	3	0	0	0
	川越	524	491	2	6	1	482	21	0	0	17	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小計	2657	2371	20	43	20	2288	214	7	5	73	2	76	51	72	23	24	3	12	10
南消防署管内	塩浜	245	215	9	14	3	189	16	6	1	3	1	4	1	14	8	3	0	3	0
	日永	300	269	16	5	7	241	14	3	0	3	1	5	2	17	5	3	1	8	0
	四郷	354	326	0	4	2	320	16	2	1	2	0	7	4	12	0	6	0	6	0
	内部	330	296	0	2	1	293	24	0	3	4	0	10	7	10	1	3	1	5	0
	河原田	155	130	5	5	0	120	18	1	0	6	0	10	1	7	0	3	0	4	0
	小山田	216	178	0	0	0	178	27	0	0	4	0	15	8	11	0	2	5	4	0
	水沢	163	142	0	0	0	142	15	0	0	4	1	6	4	6	0	1	3	2	0
	楠	301	262	11	4	0	247	37	3	16	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	小計	2064	1818	41	34	13	1730	167	15	21	36	3	63	29	79	14	23	10	32	0

## 開発行為に関する事前協議等について

### 概要

本市では、地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的として、開発許可等に関し必要な事項について四日市市開発許可等に関する条例を定めています。

消防本部としては、四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導をしています。

		平成22年度	平成23年度
審査件数		80件	72件
指導内容	水利関係	4件	4件
	消防活動用空地	3件	0件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	7件	4件

## 緊急消防援助隊の派遣体制

緊急消防援助隊は、平成7年1月に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえて、平成7年6月に創設されています。各地で大規模災害が発生した場合に、その被災都道府県内の消防力だけでは対応できないときに、緊急消防援助隊に登録している他の都道府県の市町村消防本部から、被災地に応援出動します。三重県隊のうち本市の派遣体制は次のとおりです。

		隊名等	人員	派遣車両等	
派遣隊	県隊長		1	51号	
	指揮隊	指揮隊長	1		
		指揮隊員	3		
	消火隊（タンク）1台目		4	北6号	
	消火隊（タンク）2台目		4	南15号	
	消火隊（タンク）3台目		4	西14号	
	救助隊（Ⅲ型）		5	中41号	
	特殊災害部隊	大規模危険物	大型高所放水車	2	南34号
			大型化学車	4	南10号
			原液搬送車	2	中74号
		毒劇物対応		※4	※南10号
	救急隊（高規格救急車）1台目		3	救急1号	
	救急隊（高規格救急車）2台目		3	救急4号	
	後方支援隊		2	中央支援車	

※登録隊数等 12車両42名（重複除く 11車両38名） 平成24年4月1日現在

## 四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行なう消防、防災活動を支援する制度です。

### 【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
  - ア 庁舎、資機材等の管理
  - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、バール等の軽量機材）
  - ウ 避難者の応急手当
  - エ 避難者の広域避難地への案内
  - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
  - ア 自宅周辺の被害状況の報告
  - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
  - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
  - ア 広域応援隊の誘導
  - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
  - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

### 【 四日市市消防支援隊登録状況 】

平成24年4月1日現在 94名

## 防災教育センター利用状況

### 【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設が備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火に関する種々なDVDやビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いています。

今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えています。

### 23年度

区 月別	防 災 展 示 体 験 室											防災センター			
	消防施設見学		自主防 災隊	消防関係	自治会	会社 関係	官公庁	他都市 視察	家族		個別		計	計	累計
	保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
4月	件数								1		29		30	14	14
	人員								2	2	53	74	131	6521	6521
5月	件数					1			3		3		7	7	21
	人員					5			9	6	2	5	27	295	6816
6月	件数			4					3		2		9	15	36
	人員			14					2	25	6		47	153	6969
7月	件数		1			4			8		4		17	8	44
	人員		85			33			23	15	4	3	163	135	7104
8月	件数		2			3			11		4		20	3	47
	人員		7			19			19	19	59	11	134	27	7131
9月	件数		1			2			2		5		10	6	53
	人員		128			16			5	4	4	17	174	71	7202
10月	件数	2	3		1	2			1		1		10	6	59
	人員	160	393		300	30			1	3	2		889	433	7635
11月	件数	7	6			5			1		4		23	16	75
	人員	373	152			52			1	1	7	2	588	561	8196
12月	件数	4				1	4		3		1		13	5	80
	人員	226				20	34		7	6		1	294	286	8482
1月	件数	1	3			1	1		2		1		9	4	84
	人員	55	21			13	7		4	4		1	105	53	8535
2月	件数	1			1		4				1		7	5	89
	人員	70			15		26					1	112	95	8630
3月	件数										1		1	8	97
	人員										1	2	3	133	8763
合計	件数	15	16		6	2	26				35	56	156		
	人員	884	786		329	33	222				73	85	138	117	2667

※防災展示、体験者数月平均

222 人

防災センター一月平均利用者

730 人

## 四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつが高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防火・防災対策です。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりを実施するために防災指導員制度を創設しました。そして、平成23年3月に発生した東日本大震災はその重要性を大きくクローズアップさせました。

指導員は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

防災診断は、平成8年からスタートし、平成23年度までに全市域の高齢者宅を5巡実施しております。

また、平成18、19年度には、特別防災診断として住宅用火災警報器の設置を完了させ、平成23年度から第6回目の防災診断6巡目をスタートさせ、高齢者の安全、安心に努めています。

### 防災診断実施状況

平成23年度

診断対象区分		第1～3回 (H8.6～H17.3)	第4回 (H17.4～H19.3)	特別 (H19.4～H20.3)	第5回 (H20.4～H23.3)	第6回 (H23年度)	総合計
対象世帯数	合計	10,537	3,084	3,256	5,766	1,567	24,210
ひとり暮らし高齢者		10,061	2,873	3,092	5,462	1,470	22,958
寝たきりの高齢者世帯等		294	181	136	218	59	888
障害者等		182	30	28	86	38	364
訪問世帯数	合計	8,179	2,740	3,235	3,752	743	18,649
ひとり暮らし高齢者		7,773	2,533	3,071	3,536	694	17,607
寝たきりの高齢者世帯等		241	178	136	148	25	728
障害者等		165	29	28	68	24	314

### 防災指導員による指導状況

指導内容		件数
防火管理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である	1
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない	
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない	
	電気配線が適切でない	1
	屋内の整理整頓が必要である	8
	住宅用火災警報器が未設置	95
地震対策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある	97
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない	1
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内で地震が発生した場合、転倒の危険がある	
指導件数合計		203



# 防火・防災教室の経緯と現状

平成24年3月31日

<p>1. 防災教育の目的</p>	<p>阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図ります。</p>
<p>2. 活動実績</p> <p>(1) 防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)</p>	<p>管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。</p> <p>平成13年度から管内の中学校（私立中を含む）28校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成19年度実施校（28校・3,351人）</li> <li>・ 平成20年度実施校（28校・3,327人）</li> <li>・ 平成21年度実施校（28校・3,315人）</li> <li>・ 平成22年度実施校（28校・3,472人）</li> <li>・ 平成23年度実施校（27校・3,468人）</li> </ul>
<p>(2) 防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)</p>	<p>管内の小学5年生（一部の小学校では4年生）を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。</p> <p>平成13年度から管内の小学校（私立小を含む）45校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成19年度実施校（44校・3,666人）</li> <li>・ 平成20年度実施校（45校・3,708人）</li> <li>・ 平成21年度実施校（45校・3,488人）</li> <li>・ 平成22年度実施校（45校・3,606人）</li> <li>・ 平成23年度実施校（45校・3,982人）</li> </ul>
<p>3. 標準カリキュラム</p> <p>(1) 防災教室（中学生） (全体3時限、分割有)</p>	<p>(ア) 避難訓練及び教諭の講話（学校主体）</p> <p>(イ) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨等)</p> <p>(ウ) 応急手当の実技指導（止血、固定、搬送法）等</p> <p>(エ) 防災啓発車による地震体験</p>
<p>(2) 防火教室（小学生） (全体2時限、連続)</p>	<p>(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話</p> <p>(イ) 体験実技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水消火器による模擬消火体験</li> <li>・ スモークマシンによる煙体験</li> <li>・ 天ぷら油火災シミュレーション</li> </ul>

救急 ・ 救助

# 一 目 統 計

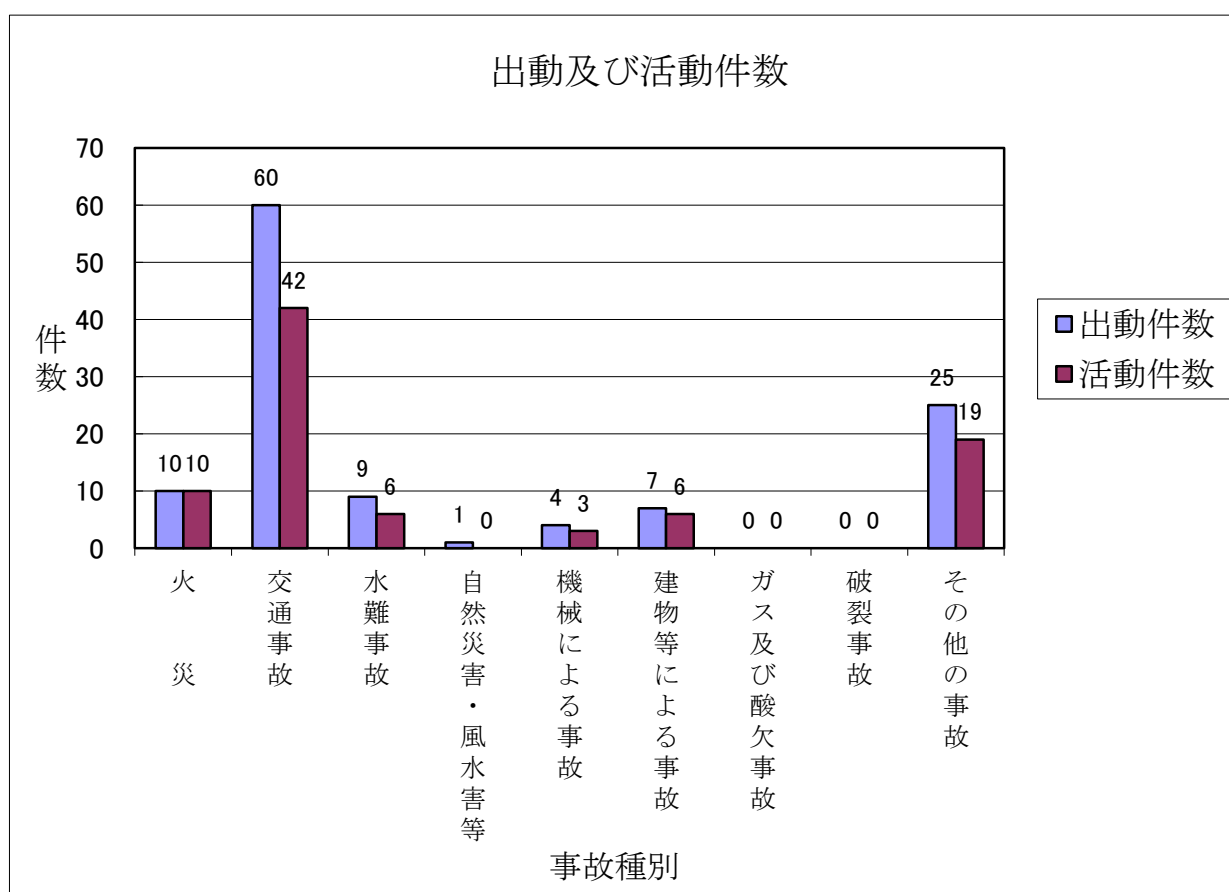
平 成 2 3 年 中

救 助 出 動 件 数		1 1 6 件
(うち 高度救助隊 出動件数)		7 9 件 )
救 助 活 動 件 数		8 6 件
(うち 高度救助隊 活動件数)		4 4 件 )
活 動 割 合		7 4 . 1 %
出 動 延 べ 隊 数		5 2 3 隊
救 助 人 員		8 2 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 3 2 件
活動1回あたりの平均救助人員		0 . 9 5 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	7 月	1 9 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	9 月	5 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	木曜日	2 3 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	水曜日	1 1 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	浜田地区、常磐地区	9 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	保々、水沢、同和地区	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	0 時～1 時	1 6 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	2 3 時～2 4 時	1 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	交通	6 0 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	3 月 1 7 日	5 件

## 救出・救助活動状況

(平成23年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	10	60	9	1	4	7	0	0	25	116
出動隊数	123	241	49	2	18	14	0	0	76	523
出動延べ人員	745	877	165	8	69	49	0	0	306	2,219
活動件数	10	42	6	0	3	6	0	0	19	86
救助人員	3	45	6	0	3	6	0	0	19	82



## 水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成24年4月1日現在、21名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

### 水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
19 年 中	災害出動 水難救助	5	1	2		1			1					
	水難訓練	35	2	2	2		1	4	5	3	3	6	4	3
	新人研修	28	2	2	2			5	1	4	2	2	6	2
20 年 中	災害出動 水難救助	5			1			1		2		1		
	水難訓練	48	2	2	2	1	2	8	5	7	6	5	6	2
	新人研修	26	2	2	3		1	2	2	1	4	4	3	2
21 年 中	災害出動 水難救助	5					1	1			1			2
	水難訓練	29	2	2	2		2	2	2	4	3	3	4	3
	新人研修	27	2	2	2			4	2	3	1	4	5	2
22 年 中	災害出動 水難救助	8		2		1		1		2		1	1	
	水難訓練	30	2	1	2		3	3	5	3	4	4	2	1
	新人研修	18						3	2	2	2	2	5	2
23 年 中	災害出動 水難救助	5		1		1	1			2				
	水難訓練	37	1	2	2		3	3	5	6	4	7	3	1
	新人研修	23	2	1	1			5		2	2	4	4	2

## 一 目 統 計

平成23年中

救 急 出 動 件 数		13,567件
搬 送 件 数		12,235件
不 搬 送 件 数		1,332件
搬 送 人 員		12,439人
	男	6,631人
	女	5,808人
一日あたりの平均出動件数		37.2件
一日あたりの平均搬送人員		34.1人
救急告示医療機関数		12施設 四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)
出動件数の多かった月	12月	1,271件
出動件数の少なかった月	2月	980件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,043件
出動件数の少なかった曜日	水曜日	1,837件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,129件
出動件数の少なかった地区	同和地区	48件
出動件数の多かった時間帯	8時～10時	1,571件
出動件数の少なかった時間帯	2時～4時	520件
出動の多かった事故種別	急病	8,905件
出動件数の一番多かった日	8月 15日	59件
出動件数の一番少なかった日	10月 7日	18件

## 平成23年中の救急業務の概要

平成23年中の救急出動件数は13,567件で、前年に比べ245件の増加となりました。また、搬送人員は12,439人で前年と比べ157人の増加となりました。平成23年は、本市の救急業務始まって以来の最高の出動件数となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が8,905件（65.6%）で最も多く、続いて「一般負傷」が1,689件（12.4%）、「交通事故」が1,534件（11.3%）、「転院搬送」が873件（6.4%）となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約25人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、37.2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「高齢者」「少年」「乳幼児」「新生児」は増加していますが、「成人」はやや減少しています。「高齢者」の搬送比率は52.2%となっており、年々増加しています。

『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は62.2%となっています。前年と比較し、「重症」と「軽症」の比率はやや増加していますが、「死亡」と「中等症」の比率はやや減少しています。

『地区別』の傾向については、「中部」「常磐」「日永」「三重」「四郷」「羽津」の各地区が救急需要の多い6地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

◎ 現場到着時間（覚知から現場到着までの平均時間）

年 中	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
現場到着時間	6分12秒	5分54秒	5分42秒	5分45秒	5分42秒

◎ 医療機関到着時間（覚知から医療機関到着までの平均時間）

年 中	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
医療機関到着時間	26分18秒	27分06秒	27分42秒	28分12秒	28分42秒

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

加えて、平成23年8月現在、市内の公的施設にAED（自動体外式除細動器）が274台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

◎ 救急救命士による特定行為の処置実績

処置内容		気道確保	静脈路確保	薬剤投与
処 置 実 績	平成19年中	52	36	9
	平成20年中	42	61	12
	平成21年中	39	57	9
	平成22年中	61	64	20
	平成23年中	66	127	22

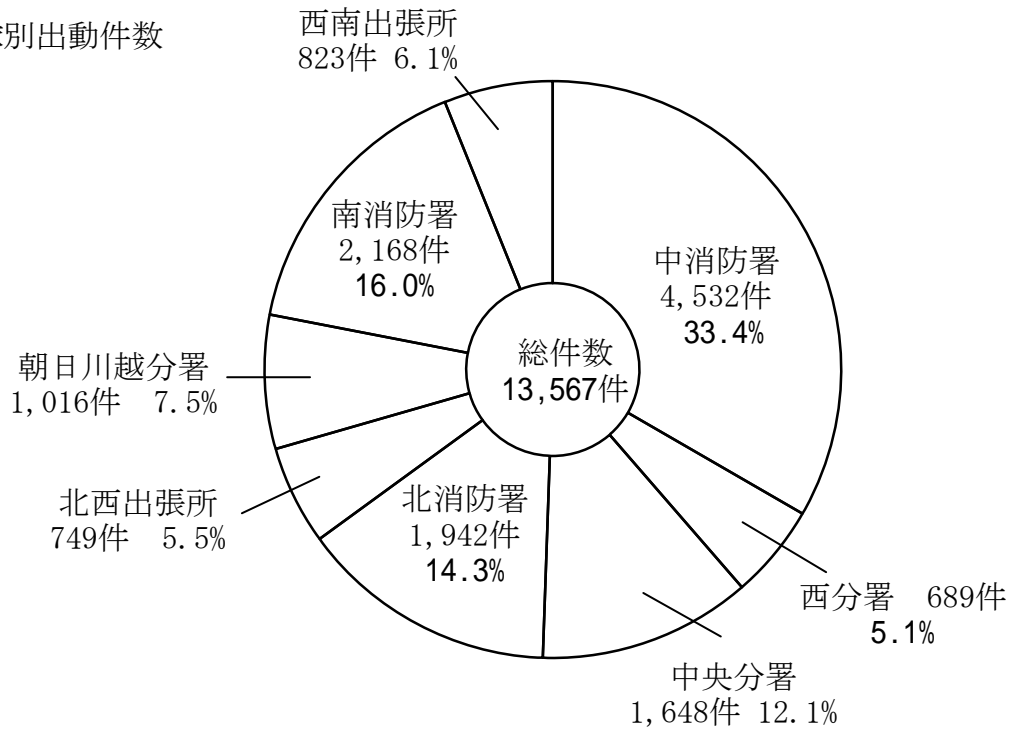


# 救急概要

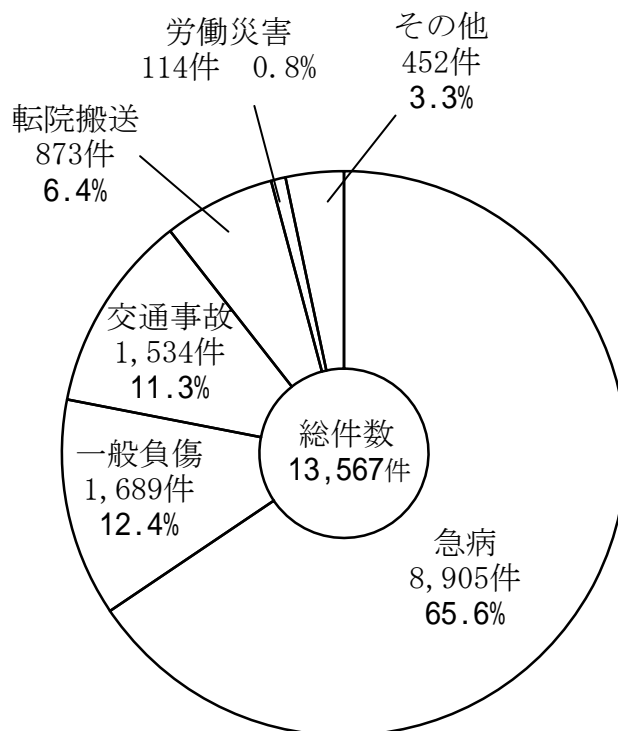
(平成23年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	13,567件	37.2件
搬送件数	12,235件	33.5件
搬送人員	12,439人	34.1人

救急隊別出動件数



事故別出動件数



## 救急発生状況比較

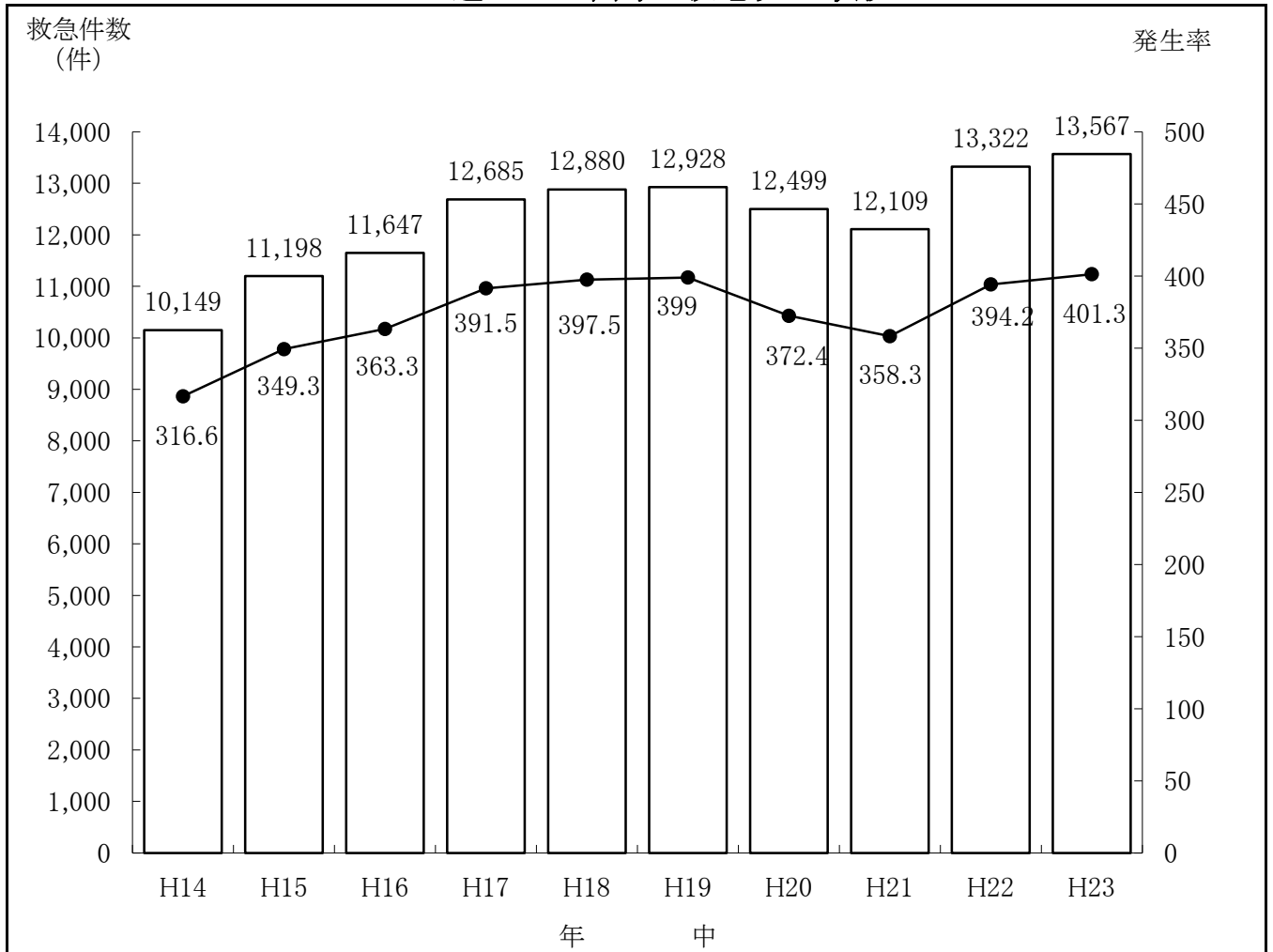
年 別		平成19年中	平成20年中	平成21年中	平成22年中	平成23年中
区 分						
全 国	救急件数	5,290,236件	5,097,094件	5,122,226件	5,463,682件	未確定
	発生率	414.4件	399.3件	401.2件	427.0件	未確定
三重県	救急件数	73,409件	72,553件	73,963件	78,971件	未確定
	発生率	393.2件	388.6件	396.2件	425.8件	未確定
四日市市 (朝日、川越町含)	救急件数	12,928件	12,499件	12,109件	13,322件	13,567件
	発生率	399.0件	372.4件	358.3件	394.2件	401.3件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

## 過去10年間の救急発生状況



平成23年

## 地区別救急出動状況

地区別		区分		出動件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		<b>13,567 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,235 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,439 件</b>	<b>100 %</b>		
中 消 防 署	小計	<b>6,025</b>	<b>44.41</b>	<b>5,382</b>	<b>43.99</b>	<b>5,466</b>	<b>43.94</b>		
	共同	728	5.37	582	4.76	591	4.75		
	同和	48	0.35	43	0.35	44	0.35		
	中央	149	1.10	130	1.06	130	1.05		
	港	161	1.19	144	1.18	144	1.16		
	浜田	759	5.59	662	5.41	671	5.39		
	橋北	277	2.04	251	2.05	254	2.04		
	海蔵	475	3.50	428	3.50	435	3.50		
	常磐	1,129	8.32	1,035	8.46	1,056	8.49		
	川島	298	2.20	269	2.20	269	2.16		
	神前	319	2.35	289	2.36	296	2.38		
	桜	520	3.83	487	3.98	496	3.99		
	県	203	1.50	189	1.54	194	1.56		
三重	959	7.07	873	7.14	886	7.12			
北 消 防 署	小計	<b>3,065</b>	<b>22.59</b>	<b>2,811</b>	<b>22.98</b>	<b>2,855</b>	<b>22.95</b>		
	羽津	698	5.14	633	5.17	642	5.16		
	富田	516	3.80	484	3.96	494	3.97		
	富洲原	425	3.13	379	3.10	388	3.12		
	大矢知	512	3.77	465	3.80	472	3.79		
	八郷	347	2.56	325	2.66	332	2.67		
	下野	312	2.30	294	2.40	294	2.36		
	保々	255	1.88	231	1.89	233	1.87		
南 消 防 署	小計	<b>3,517</b>	<b>25.92</b>	<b>3,177</b>	<b>25.97</b>	<b>3,218</b>	<b>25.87</b>		
	塩浜	399	2.94	348	2.84	352	2.83		
	日永	887	6.54	799	6.53	807	6.49		
	四郷	824	6.07	755	6.17	765	6.15		
	内部	498	3.67	443	3.62	447	3.59		
	河原田	181	1.33	163	1.33	170	1.37		
	小山田	225	1.66	204	1.67	209	1.68		
	水沢	110	0.81	103	0.84	103	0.83		
楠	393	2.90	362	2.96	365	2.93			
高速自動車道		80	0.59	73	0.60	90	0.72		
市 外	小計	<b>880</b>	<b>6.49</b>	<b>792</b>	<b>6.47</b>	<b>810</b>	<b>6.51</b>		
	朝日町	338	2.49	308	2.52	312	2.51		
	川越町	540	3.98	482	3.94	493	3.96		
	その他	2	0.01	2	0.02	5	0.04		

平成23年

## 月別救急出動状況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出動件数	<b>13,567</b>	<b>1,220</b>	<b>980</b>	<b>1,156</b>	<b>1,042</b>	<b>1,086</b>	<b>1,112</b>	<b>1,174</b>	<b>1,249</b>	<b>1,113</b>	<b>1,107</b>	<b>1,057</b>	<b>1,271</b>
	搬送人員	<b>12,439</b>	<b>1,119</b>	<b>886</b>	<b>1,062</b>	<b>960</b>	<b>988</b>	<b>1,021</b>	<b>1,097</b>	<b>1,154</b>	<b>1,017</b>	<b>1,015</b>	<b>962</b>	<b>1,158</b>
火災	出動件数	<b>61</b>	5	8	7	6	2	5	5	5	5	5	3	5
	搬送人員	<b>11</b>	0	3	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0
自然災害	出動件数	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	<b>6</b>	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0
	搬送人員	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通	出動件数	<b>1,534</b>	120	106	120	133	116	112	147	135	149	132	128	136
	搬送人員	<b>1,561</b>	125	95	131	135	114	117	153	142	153	133	124	139
労働災害	出動件数	<b>114</b>	8	13	7	6	4	11	11	12	8	10	14	10
	搬送人員	<b>112</b>	8	13	7	6	4	11	11	11	8	9	14	10
運動競技	出動件数	<b>91</b>	4	5	6	10	14	2	10	7	10	9	7	7
	搬送人員	<b>95</b>	4	5	6	10	16	3	10	7	10	9	7	8
一般負傷	出動件数	<b>1,689</b>	182	114	140	122	133	113	136	151	137	161	147	153
	搬送人員	<b>1,565</b>	172	107	133	113	124	104	123	145	125	144	132	143
加害	出動件数	<b>73</b>	4	5	3	3	9	7	3	11	6	6	4	12
	搬送人員	<b>61</b>	4	4	3	4	7	5	3	10	3	3	3	12
自損行為	出動件数	<b>171</b>	10	11	18	14	15	15	14	19	19	9	10	17
	搬送人員	<b>121</b>	9	8	12	9	10	7	9	14	18	8	3	14
急病	出動件数	<b>8,905</b>	800	645	783	661	726	758	778	821	720	691	678	844
	搬送人員	<b>8,034</b>	716	582	697	600	653	690	719	744	648	627	615	743
転院搬送	出動件数	<b>873</b>	81	69	70	82	59	83	67	81	51	83	63	84
	搬送人員	<b>870</b>	80	69	70	80	59	81	67	80	51	82	63	88
その他	出動件数	<b>50</b>	6	3	2	3	7	6	3	6	7	1	3	3
	搬送人員	<b>9</b>	1	0	0	2	0	3	1	1	0	0	0	1

## 応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約270回程度開催しています。

また、毎月1回、第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。

さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導者がいます。

### 応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (267回) 4,800人 (平成23年中)

講習 実施 月	講習 回数	男 女 別		修了者 数 計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	267	2,403	2,397	4,800	221	523	96	1,032	1,642	424	350	512
1月	19	170	86	256	40	0	13	0	85	61	16	41
2月	20	221	54	275	55	27	0	0	159	9	11	14
3月	13	133	66	199	23	0	0	0	116	25	0	35
4月	11	124	100	224	0	0	0	0	99	3	85	37
5月	19	144	199	343	21	68	0	19	97	51	0	87
6月	65	477	846	1,323	45	235	18	531	186	124	128	56
7月	32	215	590	805	0	66	37	482	115	8	26	71
8月	14	120	74	194	0	0	0	0	110	18	27	39
9月	23	275	69	344	14	44	0	0	175	37	11	63
10月	12	164	171	335	0	0	0	0	243	66	13	13
11月	25	199	104	303	5	58	28	0	129	22	33	28
12月	14	161	38	199	18	25	0	0	128	0	0	28

※ 応急手当普及員にて47回実施、受講者738人含む。

#### ○上級救命講習の実績

一般公募・専門学校・事業所等	実施回数 7回 181名 (男92名 ・ 女89名)
----------------	-------------------------------

#### ○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 4回 ・ 再講習 11回 324名 (男310名 ・ 女14名)
-----------	--

#### ○応急手当普及員講習の実績

コンビナート ・ 一般事業所 市職員・教職員・防災隊・住民・その他	新規講習 4回 ・ 再講習 6回 204名 (男143名 ・ 女61名)
--------------------------------------	---

## 応急手当普及活動による救命率の向上

心肺停止の傷病者に遭遇したとき、すぐそばに居合わせた人（バイスタンダー）が行う心肺蘇生法などの応急手当が、救命率や予後に大きく影響しています。

◎ 救命率とは、救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者のうち、1か月後の生存者の割合

	救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者数	家族等により応急手当が実施されていた傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
		家族等により応急手当が実施されていない傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
平成14年	219人	53人(24.2%)	0人(0.0%)
		166人(75.8%)	3人(1.8%)
平成15年	242人	76人(31.4%)	6人(7.9%)
		166人(68.6%)	10人(6.0%)
平成16年	261人	71人(27.2%)	5人(7.0%)
		190人(72.8%)	9人(4.7%)
平成17年	272人	76人(27.9%)	1人(1.3%)
		196人(72.1%)	9人(4.6%)
平成18年	263人	53人(20.2%)	1人(1.9%)
		210人(79.8%)	11人(5.2%)
平成19年	278人	99人(35.6%)	5人(5.1%)
		182人(65.5%)	26人(14.3%)
平成20年	318人	130人(40.9%)	9人(6.9%)
		188人(59.1%)	13人(9.9%)
平成21年	276人	111人(40.2%)	2人(1.8%)
		165人(59.8%)	7人(4.2%)
平成22年	342人	148人(43.3%)	8人(5.4%)
		194人(56.7%)	8人(4.1%)
平成23年	322人	116人(36.0%)	8人(6.9%)
		206人(64.0%)	14人(6.8%)

通信 ・ 気象

# 一 目 統 計

平成23年中

## 119番通報取扱状況

受 信 総 件 数	19,286件
携 帯 電 話 受 信 件 数	7,321件
一日あたりの平均受信件数	52.8件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数	20.0件
通 報 件 数 の 多 か っ た 月	8月 1,789件
通 報 件 数 の 少 な っ た 月	2月 1,329件

## 気 象 状 況

最 高 気 温	6月28日	38.0℃
最 低 気 温	1月16日	-3.6℃
最 大 瞬 間 風 速	5月30日	26.7m/s
年 間 総 雨 量		1,895.5mm
時間あたりの最大降雨量	8月22日(21時~22時)	56.5mm
一日あたりの最大降雨量	9月4日	211.0mm
最 多 風 向		西北西
最 少 風 向		東北東



## 指令事務の共同運用

四日市市と桑名市は、「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、平成19年4月1日から指令事務の共同運用を開始しました。

- 1 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の目的  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。
- 2 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の担当事務
  - ・ 災害通報の受信
  - ・ 出動指令
  - ・ 通信統制
  - ・ 情報の収集伝達
- 3 担当事務を執行する施設の名称  
消防指令センター
- 4 消防指令センターの設置場所  
桑名市消防本部内
- 5 共同運用部分の経費の負担割合  
経費の2分の1を国勢調査人口比率、残りの2分の1を消防費基準財政需要額比率とする。
- 6 消防指令センターの管内人口及び面積  
管内人口約56万人・面積約614km<sup>2</sup>
- 7 消防指令センター管内署所数  
17署所
- 8 消防指令センター員の構成状況  
総員 27名  
内訳 四日市市消防本部職員 15名  
桑名市消防本部職員 12名

## 消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

- 1 NTT発信地表示システム  
NTTからの119番通報時に、通報者の住所を瞬時に特定し、地図上に通報場所を表示します。
- 2 携帯電話・IP電話の発信者位置情報通知システム  
携帯電話・IP電話からの119番緊急通報時に、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が自動的に消防本部に通知され、地図上に表示します。
- 3 車両位置管理システム  
GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に速い消防車・救急車に対して出動を指令（直近車両の隊編成）します。
- 4 Eメール・FAX119番緊急通報システム  
音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、携帯電話機やインターネット接続端末機からEメール、又はFAXを利用して火災・救急事案等の緊急通報を受信します。
- 5 消防団への出動指令  
消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へファックスによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

## 119番通報受付取扱状況

(四日市市消防本部管内)

(平成23年中)

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
1	40	1155	3	22	37	61	43	132	16	6	174	1689
2	40	915	7	17	26	51	66	87	13		106	1329
3	42	1070	7	13	56	68	108	122	10	1	131	1628
4	26	974	6	12	101	56	49	84	7		170	1485
5	12	1040	8	10	185	61	67	115	10	1	189	1698
6	12	1078	3	19	65	67	75	83	16		142	1560
7	29	1120	9	17	57	73	43	117	5		160	1630
8	25	1189	8	22	88	70	38	138	18	1	192	1789
9	13	1075	4	28	69	58	87	119	13		171	1637
10	32	1066	5	18	67	66	84	106	10	1	154	1609
11	15	1022	8	7	59	43	103	96	10		139	1502
12	9	1235	9	13	34	63	102	109	13		143	1730
合計	296	12939	77	198	844	737	865	1308	141	10	1871	19286

備考 携帯電話からの通報含む。※災害通報には、同報通報を含む。

## 119番通報受付取扱回線種別状況

(四日市市消防本部管内)

(平成23年中)

回線種別	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
固定電話	97	5909	18	47	405	266	687	412	11	8	668	8528
IP電話	44	2714	6	32	13	97	118	219	5	2	187	3437
携帯電話	155	4316	53	119	426	374	60	677	125	0	1016	7321
合計	296	12939	77	198	844	737	865	1308	141	10	1871	19286

## 消防指令センター 119番通報受付取扱状況

(四日市市消防本部・桑名市消防本部管内別)

(平成23年中)

消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
四日市	296	12939	77	198	844	737	865	1308	141	10	1871	19286
桑名	253	7623	64	115	183	549	771	912	74	12	1103	11659
合計	549	20562	141	313	1027	1286	1636	2220	215	22	2974	30945

# 通 信 施 設 保 有 状 況

(平成24年4月1日現在)

所属別 区分	消防緊急通信指令施設Ⅲ型	火災報知電話	ホットライン	指令電話	公団	電話交換機	加入電話(回線)	テレフォングイド(回線)	消防無線電話			救急無線		消防団無線電話車載	県防災無線電話		市防災行政用無線電話	フアックス	無線ファクシミリ	携帯電	
									基	移動		基	移動(車載)		地上・衛星	防災相互波					
										消	その他車										携
合計	1	12	31	9	1	1	36	15	1	26	23	70	1	12	29	3	12	1	39	1	22
消防本部	1	12	31		1	1	18	15	1		8	8	1			3	5	1	2	1	4
中消防署				1			4			8	2	15		3			2		1		5
中央分署				1			1			3	3	6		1			1		1		2
西分署				1			2			2	1	3		1					1		2
港分署				1			1				2	2				2			1		
北消防署				1			2			5	3	13		2			1		1		2
朝日川越分署				1			2			1	1	6		1					1		2
北西出張所				1			1			1		2		1					1		1
南消防署				1			4			5	3	13		2		1			1		3
西南出張所				1			1			1		2		1					1		1
消防団															29				28		

◎県防災行政無線電話には、衛星可搬型地球局含む。

## 無 線 配 置 状 況

消 防 本 部	
○車載無線(よっかいち)	
指揮車	51
広報車	61. 68. 69. 73. 78
トラック	82
○携帯無線(よっかいち)	
800. 801. 802. 803. 804	
805. 810. 820	
○基地局	
よっかいちしょうぼう	
きゅうきゅうよっかいち	
三重県防災行政無線(固定局)	
四日市市防災行政無線(固定局)	

四日市市消防団	
(よっかいちしょうぼうだん)	
○消防団本部	1. 2. 3. 4
ポンプ車	他29

港 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
広報車	71
水難救助車	45
○携帯無線(よっかいちみなど)	
601. 602	

中 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	1
水槽付ポンプ車	5
化学車	8
はしご車	31
大型化学高所放水車	35
救助工作車(Ⅲ型)	41
広報車	62. 72
泡原液搬送車	74
原液運搬車	76
○携帯無線(よっかいちなか)	
100. 101. 103. 105. 106	
108. 141. 142. 143. 144	
145. 190. 191. 192. 193	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	1. 7. 9

中 央 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	4
水槽車	11
水槽付ポンプ車	12
広報車	66
トラック	84
支援車	1
○携帯無線(よっかいちちゅうおう)	
700. 701. 702. 703. 704	
790	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	12

西 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	7. 14
広報車	70
○携帯無線(よっかいちにし)	
401. 403. 491	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	6

北 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	2
水槽付ポンプ車	6
化学車	9
屈折はしご車	32
救助工作車(Ⅱ型)	43
広報車	63. 65
トラック	81
○携帯無線(よっかいちきた)	
200. 201. 202. 203. 204	
205. 206. 207. 208. 241	
242. 292. 295	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	5. 11

北西出張所	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	17
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	4
○携帯無線(よっかいちほくせい)	
290. 291	

朝 日 川 越 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	16
広報車	79
○携帯無線(よっかいちあさかわ)	
501. 502. 503. 504. 590	
591	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	8

南 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	3
水槽付ポンプ車	15
化学車	10
高所放水車	34
泡原液搬送車	36
広報車	64. 80
トラック	83
○携帯無線(よっかいちみなみ)	
300. 301. 302. 303. 305	
306. 307. 308. 309. 390	
391. 392. 393	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	2. 3

西南出張所	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	18
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	10
○携帯無線(よっかいちせいなん)	
304. 395	

警報・注意報・情報等の発表状況(四日市、朝日町)

(平成 23 年中)

種別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	発表回数 計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
警報	暴風警報							1		2				3
	暴風雪警報													0
	大雨警報						1	4	1	2				8
	大雪警報	1												1
	洪水警報								3	1	2			6
	波浪警報								1		2			3
	高潮警報													0
注意報	大雨注意報					2	5	8	10	6	2			33
	大雪注意報	4	2										1	7
	風雪注意報	1		1										2
	雷 注意報		2	3	7	6	10	14	19	5	3	4		73
	強風注意報	2	3	6	4	1		2		6	5	4	4	37
	融雪注意報													0
	濃霧注意報		1	1	1	2	6	1	1		2	2		17
	乾燥注意報		2	3	2	3								10
	なだれ注意報													0
	低温注意報	5												5
	霜注意報			18	17									35
	着氷注意報													0
	着雪注意報													0
	洪水注意報						2	6	7	6	1			22
	波浪注意報				1	1		2	1	4	2		1	12
高潮注意報							1	1	8				10	
計		13	10	32	32	15	24	43	41	43	15	10	6	284
火災気象通報		1	6	10	15	6						1		39
土砂災害警戒情報	四日市市							1						1
	朝日町							1						1
竜巻注意情報					1		5	6	2	5	2			21
津波警報	大津波													0
	津波			1										1
津波注意報				1										1

注1)火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注2)同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。

注3)土砂災害警戒情報について、川越町は発表対象外です。

注4)竜巻注意情報は、三重県北部地域を対象に発表された回数を示す。

# 気 象 状 況

風速・湿度・気温・風向・降雨量

(平成23年中)

区分		月別												
		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速(m/s)	平均	2.5	2.9	2.6	3.3	2.7	2.4	1.8	2.3	1.8	3.0	2.3	2.3	2.6
	最大瞬間	16.2	10.1	16.2	11.4	11.9	14.5	7.9	10.8	7.9	13.3	9.1	12.0	12.3
湿度(%)	平均	63.6	58.7	58.0	58.0	54.9	66.7	74.0	72.7	53.0	72.5	65.7	66.6	62.9
	最低	0.5	47.3	47.7	44.0	38.3	47.4	57.5	50.0	0.5	50.0	52.3	51.7	56.2
気温(°C)	平均	16.6	3.9	7.0	7.8	13.2	19.2	24.2	28.0	28.6	25.5	19.3	14.7	7.6
	最高	38.0	11.2	16.1	19.0	23.2	29.0	38.0	35.4	36.7	33.6	27.2	24.5	17.2
	最低	-3.6	-3.6	-2.0	-0.4	3.0	10.7	15.2	21.7	22.5	15.3	9.0	5.1	-0.2
気圧(hPa)	平均	1012.2	1014.9	1016.4	1014.9	1010.9	1009.3	1007.2	1005.7	1007.6	1008.3	1015.4	1018.1	1017.4
	最高	1028.7	1025.0	1028.7	1026.2	1026.1	1018.9	1014.9	1015.3	1013.8	1021.1	1025.9	1028.0	1027.3
	最低	800.0	998.6	998.9	1001.0	800.0	984.4	996.7	985.4	1001.8	975.5	1003.6	997.4	998.9
風向頻度(%)	東	2.4	1.1	2.4	1.2	2.1	2.6	3.8	3.6	3.5	5.2	1.0	0.9	1.1
	東南東	5.7	0.8	2.6	2.2	4.1	6.8	9.5	15.7	10.2	10.2	3.6	1.0	0.8
	南東	10.7	0.9	4.1	3.9	9.0	16.1	19.0	24.6	19.7	23.5	5.2	1.6	0.4
	南南東	3.9	0.6	1.0	0.7	4.1	5.8	8.1	6.6	7.9	8.1	2.4	1.1	0.6
	南	4.0	0.8	1.3	1.1	2.8	6.2	8.8	5.5	9.3	5.2	4.0	2.0	1.0
	南南西	2.0	1.5	0.9	0.8	1.1	2.9	2.5	2.1	4.6	0.9	2.4	1.4	2.4
	南西	2.0	3.3	1.7	1.2	0.7	2.2	2.0	1.3	2.8	0.7	2.6	2.6	3.1
	西南西	4.7	10.0	4.5	5.4	3.8	5.1	3.8	2.2	3.2	0.5	5.2	4.1	7.9
	西	8.1	18.5	8.7	9.1	7.3	5.6	4.1	3.0	3.2	2.3	7.1	11.6	16.0
	西北西	23.3	29.1	28.5	38.1	26.6	17.7	13.0	13.4	10.8	18.3	26.8	31.3	26.1
	北西	13.3	14.9	18.9	18.7	16.0	9.4	9.3	8.1	7.4	8.7	16.2	16.9	17.2
	北北西	4.9	4.7	6.8	5.2	5.6	3.9	3.6	3.0	3.3	3.3	6.7	6.5	6.7
	北	4.5	4.4	5.6	4.4	4.9	4.4	3.6	3.0	3.6	3.5	5.7	5.6	5.5
	北北東	4.7	4.3	5.3	3.4	6.0	5.1	3.4	3.0	3.6	4.4	6.1	7.2	5.1
	北東	4.1	5.7	4.5	4.4	3.6	1.8	3.7	4.9	3.0	3.5	5.2	4.9	4.5
	東北東	1.9	2.0	2.8	1.3	1.9	2.1	2.3	2.3	2.6	1.3	1.0	1.6	1.7
静穏	1.3	0.9	2.2	0.6	1.2	2.2	2.3	0.8	1.0	0.3	1.5	1.7	1.0	
降雨量(mm)	日数	102	1	9	7	9	14	12	9	11	11	9	6	4
	時間最大	56.5	2.0	10.5	7.0	8.0	13.0	15.5	35.5	56.5	45.5	10.5	5.5	6.0
	1日最大	211.0	6.0	49.5	16.5	30.5	68.5	73.0	97.0	103.5	211.0	36.5	36.5	12.0
	合計	1895.5	6.0	96.5	41.0	81.5	278.0	284.0	215.5	202.0	487.5	123.5	58.0	22.0

予 防

# 一 目 統 計

平成23年度

広報活動		3 2 6 件
広報催事に対する参加者数		3 5, 6 9 8 人
立入検査数		1, 5 3 9 件
建築同意数		5 0 4 件
防火対象物		1 5, 3 1 1 棟
中高層ビル	4 階以上	1, 5 2 7 棟
危険物関係事務処理件数		4, 2 0 3 件
危険物施設数		4, 1 7 7 施設
火災条例に基づく届出件数		6, 4 3 6 件

## 広報活動状況

(平成23年度)

種	別	回数／人	合計	消 防 本	中 署	北 署	朝 川 分	南 署
広報車等による宣伝活動	回数	9		0	6	0	3	0
	人員	17		0	14	0	3	0
防火講演会 座談会	回数	21		8	2	1	5	5
	人員	2579		257	76	100	185	1961
防火映画会	回数	12		0	0	5	5	2
	人員	2015		0	0	1279	564	172
自衛消防隊等訓練指導	回数	193		0	91	25	31	46
	人員	22163		0	11597	3055	1141	6370
庁舎見学	回数	92		0	63	23	3	3
	人員	5010		0	2613	1948	267	182
防火展	回数	14		4	2	3	4	1
	人員	12958		6000	300	3908	2700	50
防火教室	回数	44		0	18	10	3	13
	人員	3895		0	1642	953	267	1033
防災教室	回数	27		0	10	7	2	8
	人員	3476		0	1332	975	249	920
地震体験車	回数	40		0	8	12	5	15
	人員	5518		0	1254	1198	853	2213
火災予防相談	回数	67		4	32	26	1	4
	人員	230		0	109	104	1	16
合計	回数	519		16	232	112	62	97
	人員	57861		6257	18937	13520	6230	12917

## 広報用印刷物

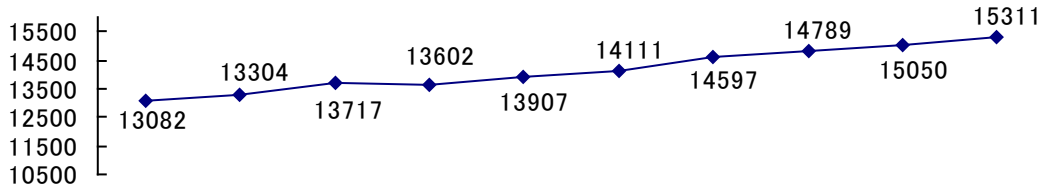
(平成23年度)

種	別	回数／部	合計	消 防 本	中 署	北 署	朝 川 分	南 署
チラシ	回数	12		0	5	2	2	3
	部数	3915		0	700	30	40	3145
ポスタ	回数	7		1	1	1	4	0
	部数	5556		5400	4	148	4	0
ステツカ	回数	1		0	1	0	0	0
	部数	200		0	200	0	0	0
防火だより	回数	2		2	0	0	0	0
	部数	284000		284000	0	0	0	0
その他	回数	25		0	20	1	3	1
	部数	1827		0	627	200	800	200
合計	回数	47		3	27	4	9	4
	部数	295498		289400	1531	378	844	3345

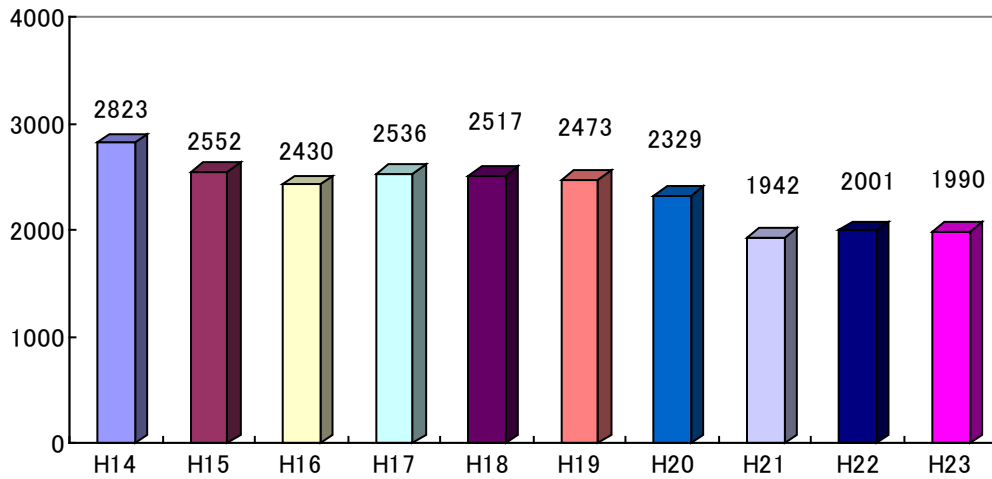


## 年別建築同意状況及び防火対象物の推移

### 防火対象物



### 建築同意件数



### 建築同意件数

(平成 23 年度)

区分 項目	件 数	
	同 意	不同意
新 築	3 5 2	0
増 築	1 3 2	0
改 築	4	0
移 築	0	0
用途変更	1 3	0
そ の 他	3	0
小 計	5 0 4	0
消防通知	1 4 8 6	0
合 計	1 9 9 0	0

### 消防用設備等届出状況

(平成 23 年度)

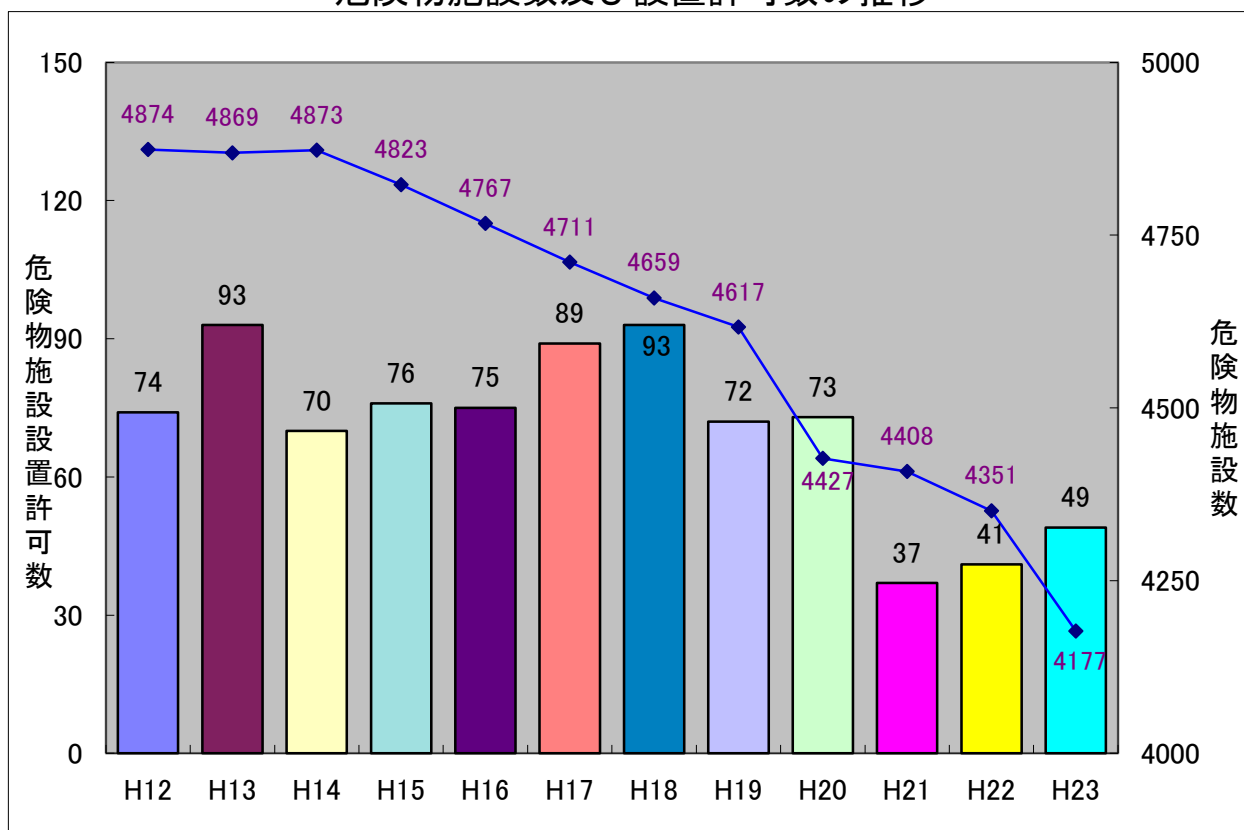
工事計画書	着工届出	設置届出
1 1 5 件	4 8 3 件	4 4 9 件

### 危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(平成 23 年度)

署別 区分	合計	中署	北署	南署
仮 貯 蔵	2 8	1	2 5	2
仮 取 扱	3 1	3	1 4	1 4

## 危険物施設数及び設置許可数の推移



## 危険物関係事務処理状況

(平成23年度)

	許可		完成検査	
	設置	変更	設置	変更
製造所	3	187	1	170
屋内貯蔵所	4	16	5	15
屋外タンク貯蔵所	17	242	6	216
屋内タンク貯蔵所	0	3	0	3
地下タンク貯蔵所	0	5	0	3
簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	13	18	9	8
屋外貯蔵所	4	1	4	2
給油取扱所	2	23	1	21
販売取扱所	0	0	0	0
移送取扱所	0	40	0	41
一般取扱所	6	215	7	214
合計	49	750	33	693

完成検査前検査	109
水張検査	77
水圧検査	26
溶接部検査	6
基礎地盤検査	0
保安検査(定期・臨時)	19

仮使用	586
仮貯蔵・仮取扱	59

変更届出(軽微な変更工事等)	848
廃止届出	215
その他届出	842

## 火災予防条例に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	港分署	北署	朝川分署	南署
防火対象物使用開始届		234	0	65	2	28	0	45	20	74
防火管理者選解任届		540	0	167	13	75	0	95	46	144
消防計画作成(変更)届		606	0	179	17	80	0	106	54	170
共同防火管理協議事項作成(変更)届		13	0	9	0	0	0	2	2	0
消火・避難訓練実施計画書		704	0	196	30	74	0	171	77	156
工事中の消防計画届		1	0	0	0	0	0	0	1	0
防火対象物定期点検報告		144	0	55	2	10	0	21	22	34
防火対象物点検報告特例認定申請		3	0	1	0	0	0	0	0	2
消防用設備等設置届		449	52	126	5	42	0	52	21	151
消防用設備等着工届		483	148	124	5	37	0	53	17	99
消防用設備等の特例適用願い		20	13	1	0	3	0	0	1	2
消防用設備等点検結果報告		2529	0	890	68	220	2	469	219	661
炉		6	0	0	0	2	0	1	2	1
厨房設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		26	0	9	0	4	0	4	5	4
給湯湯沸設備		12	0	4	0	1	0	1	2	4
乾燥設備		16	0	1	0	3	0	7	1	4
サウナ設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		1	0	1	0	0	0	0	0	0
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
発電設備		20	0	7	0	3	0	3	2	5
変電設備		77	0	16	0	7	0	8	10	36
蓄電池設備		22	0	7	0	2	0	4	2	7
ネオン管灯設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定洞道		2	0	0	0	0	0	2	0	0
水素ガス気球届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱風炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0
少量危険物		197	0	24	1	67	0	28	8	69
指定可燃物		123	0	18	0	0	0	49	2	54
圧縮アセチレンガス		47	0	15	0	7	0	12	3	10
液化石油ガス		63	0	14	1	4	0	8	2	34
無水硫酸		1	0	0	0	1	0	0	0	0
生石灰		1	0	0	0	0	0	0	0	1
毒物		3	0	0	0	2	0	0	0	1
劇物		8	0	0	0	1	0	1	2	4
火薬類		1	0	1	0	0	0	0	0	0
高圧ガス		4	0	0	0	0	0	0	0	4
喫煙届		2	0	1	0	0	0	0	1	0
裸火		40	0	30	0	0	0	10	0	0
危険物品持込		38	0	29	0	0	0	7	2	0

平成23年度

防火対象物状況(階層別)

平成24年4月1日現在

階層の別	政令別表項目別	合計	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	17	18	
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				イ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	ホ老人短期入所・特別養護老人ホーム	ハ老人デイサービス等	ニ幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	文化財	延長50m以上のアーケード
合計		15311	19	303	0	43	0	14	15	505	670	60	3771	224	81	220	77	453	8	8	19	12	326	3023	0	169	0	2076	2142	802	246	0	0	6	19
地上階	1階	5559	0	170	0	16	0	5	4	219	380	3	252	40	28	124	41	165	1	4	15	7	254	1466	0	116	0	1416	751	41	19	0	0	3	19
	2階	6397	11	117	0	23	0	7	10	194	222	14	2216	121	27	79	30	87	4	3	4	4	64	1264	0	37	0	566	910	272	108	0	0	3	0
	3階	1828	5	13	0	2	0	0	0	48	50	14	596	37	14	8	5	142	2	1	0	1	7	199	0	6	0	69	329	238	42	0	0	0	0
	4階	722	2	1	0	2	0	1	0	27	12	3	308	10	9	2	1	40	0	0	0	0	0	55	0	5	0	18	87	117	22	0	0	0	0
	5階	371	0	1	0	0	0	0	1	12	6	4	195	7	1	3	0	13	0	0	0	0	1	22	0	1	0	6	30	44	24	0	0	0	0
	6階	122	0	0	0	0	0	1	0	3	0	7	39	3	2	3	0	2	1	0	0	0	0	12	0	0	0	1	13	24	11	0	0	0	0
	7階	87	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	30	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	8	25	8	0	0	0	0
	8階	74	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	32	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	9	15	4	0	0	0	0
	9階	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	5	0	0	0	0
	10階	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0
	11階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	12階	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	13階	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	15階	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
上記のうち地階を有するもの	地下1階	258	2	6	0	0	1	0	10	4	8	32	12	5	1	4	5	1	1	0	1	1	16	0	1	0	4	90	49	4	0	0	0	0	
	地下2階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	

防火対象物状況(消防用設備別)

設備等の別	政令別表項目別	合計	1		2		3		4	5		6			7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18					
			イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ			ニ	イ			ロ	イ	ロ	イ			ロ	イ					ロ	イ	ロ	イ	ロ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	イキャバレー・カフェー	遊技場等	ハ風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	イ旅館・ホテル	ロ寄宿舎・下宿・共同住宅	イ病院・診療所	ロ老人短期入所・特別養護老人ホーム	ハ老人デイサービス等	ニ幼稚園・盲学校等	学	図書館・美術館	イ蒸気・熱気浴場	ロイに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	イ工場・作業場	ロ映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	ロイ以外の複合用途防火対象物	16二地	16三準	17文	18延長50m以上のアーケード		
防火対象物合計			15311	19	303	0	43	0	14	15	505	670	60	3771	224	81	220	77	453	8	8	19	12	326	3023	0	169	0	2076	2142	802	246	0	0	6	19	
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1285	10	15	0	6	0	1	1	3	42	22	125	15	17	11	9	138	1	1	0	1	1	420	0	5	0	251	125	57	8	0	0	0	0		
	スプリンクラー設備を要するもの	169	5	0	0	2	0	0	0	2	22	3	28	10	51	1	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	11	3	19	0	0	0	0	0		
	水噴霧等消火設備を要するもの	209	1	1	0	1	0	1	0	0	25	4	10	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	47	0	58	0	8	30	14	4	0	0	0	0	0	
	屋外消火栓設備を要するもの	361	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177	0	1	0	140	24	1	0	0	0	0	0	0	
	動力消防ポンプを要するもの	93	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	47	0	0	0	28	8	2	1	0	0	0	0	0	
	自動火災報知設備を要するもの	4493	13	67	0	25	0	11	5	111	271	43	818	97	66	102	44	241	4	4	2	2	7	1046	0	40	0	661	401	345	63	0	0	4	0	0	
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
	漏電火災警報器を要するもの	25	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	11	0	0	2	4	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	568	3	6	0	5	0	6	0	2	27	38	61	54	66	70	6	8	0	1	1	0	0	51	0	4	0	26	25	95	13	0	0	0	0	0	
	非常警報設備を要するもの	1477	11	142	0	23	0	7	1	160	156	18	208	58	20	35	19	176	3	5	5	0	30	45	0	3	0	6	198	132	16	0	0	0	0	0	
	避難器具を要するもの	1115	4	23	0	6	0	4	1	60	16	20	457	27	20	18	21	132	2	1	0	0	4	10	0	1	0	3	110	136	39	0	0	0	0	0	
	誘導灯を要するもの	2938	14	151	0	29	0	13	7	305	445	44	129	173	64	117	39	69	3	7	7	1	19	273	0	23	0	174	395	388	48	0	0	1	0	0	
	消防用水を要するもの	84	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	10	7	6	0	0	0	0	0	0	
	排煙設備を要するもの	26	2	0	0	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
	連結散水設備を要するもの	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	
連結送水管を要するもの	306	1	1	0	0	0	0	0	1	2	13	146	10	1	1	0	4	1	0	0	0	0	5	0	6	0	2	27	49	18	0	0	0	0	18		
非常コンセント設備を要するもの	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	1	0	0	0	0	0		
無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
要する防火管理の防火対象物別	甲種防火対象物	2164	8	76	0	23	0	8	5	120	227	40	323	39	47	91	31	93	4	4	2	2	17	193	0	55	0	161	309	248	37	0	0	1	0		
乙種防火対象物	531	0	95	0	3	0	3	1	166	52	1	15	3	0	7	3	9	0	0	2	0	12	5	0	2	0	2	26	113	11	0	0	0	0	0		
共同防火管理を要するもの	158	0	1	0	0	0	0	0	15	5	1	13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	8	0	0	9	91	13	0	0	0	0	0		

地区の別	政令別表項目	合計	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ			ハ	ニ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				
			劇場・映画館	公会堂・集会場	イキャバレー・カフェー	遊技場等	ハ風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	イ待合・料理店	ロ飲食店	百貨店・マーケット	イ旅館・ホテル	ロ寄宿舎・下宿・共同住宅	イ病院・診療所	ロ老人短期入所・特別養護老人ホーム	ハ老人デイサービス等	ニ幼稚園・盲学校等	学	図書館・美術館	イ蒸気・熱気浴場	ロイに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	イ工場・作業場	ロ映画・テレビスタジオ	イ自動車庫・駐車庫	ロ飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ①②④⑤イ⑥⑦⑧イ⑨イが存する複合用途防火対象物	ロイ以外の複合用途防火対象物	二地	三準地	文	延長50m以上のアーケード
合計		15311	19	303	0	43	0	14	15	505	670	60	3771	224	81	220	77	453	8	8	19	12	326	3023	0	169	0	2076	2142	802	246	0	0	6	19
中消防署管内	小計	5783	1	108	0	21	0	8	14	303	310	37	1535	110	26	76	28	155	2	4	5	4	93	721	0	98	0	652	788	536	129	0	0	0	19
	共同	704	0	3	0	3	0	1	1	113	57	11	75	6	1	3	2	9	0	1	3	0	12	16	0	22	0	27	74	220	29	0	0	0	15
	同和	18	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0
	中央	155	0	1	0	0	0	0	9	7	6	2	12	7	0	1	0	6	0	0	1	1	7	7	0	3	0	8	43	26	4	0	0	0	4
	港	344	0	9	0	0	0	0	0	5	3	2	22	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	69	0	4	0	130	85	3	6	0	0	0	0
	浜田	1064	1	5	0	5	0	0	0	24	41	11	227	13	1	8	1	22	1	0	0	0	9	125	0	43	0	158	191	132	46	0	0	0	0
	常磐	1134	0	22	0	3	0	2	1	56	77	6	574	25	8	16	5	13	1	1	1	1	13	61	0	8	0	60	89	74	17	0	0	0	0
	橋北	336	0	3	0	0	0	0	0	6	11	1	50	5	2	4	1	10	0	0	0	2	84	0	4	0	78	54	13	8	0	0	0	0	0
	海蔵	559	0	3	0	4	0	1	0	10	20	0	180	7	1	6	1	10	0	1	0	1	8	145	0	1	0	97	43	15	5	0	0	0	0
	三重	634	0	16	0	2	0	2	1	42	40	2	204	20	3	15	5	22	0	1	0	0	15	87	0	2	0	47	78	25	5	0	0	0	0
	神前	163	0	10	0	1	0	0	0	7	12	1	23	6	2	3	1	31	0	0	0	0	6	24	0	3	0	8	18	6	1	0	0	0	0
	川島	169	0	6	0	1	0	0	0	8	11	0	77	8	2	6	3	5	0	0	0	0	8	7	0	0	0	3	13	8	3	0	0	0	0
	県	228	0	10	0	1	0	0	0	8	5	0	42	4	2	3	3	12	0	0	0	0	6	55	0	2	0	21	46	5	3	0	0	0	0
	桜	275	0	19	0	1	0	2	1	16	25	1	45	8	3	8	5	15	0	0	0	1	7	39	0	6	0	13	50	8	2	0	0	0	0
北消防署管内	小計	4561	13	94	0	7	0	3	0	104	181	7	1246	50	19	57	23	149	5	1	9	4	92	1153	0	30	0	602	512	146	53	0	0	1	0
	富田	446	0	9	0	0	0	0	3	26	0	150	7	4	5	2	23	0	1	4	1	10	61	0	3	0	49	50	29	9	0	0	0	0	
	羽津	1109	7	10	0	3	0	1	0	24	55	1	243	14	2	14	4	19	0	0	0	1	13	369	0	5	0	158	128	30	8	0	0	0	0
	富洲原	339	0	8	0	2	0	1	0	16	13	5	62	5	1	5	4	10	0	0	2	1	4	98	0	8	0	47	27	15	5	0	0	0	0
	大矢知	578	0	13	0	0	0	0	0	12	22	0	298	7	2	2	4	7	0	0	0	0	15	76	0	1	0	69	26	20	3	0	0	1	0
	八郷	391	0	13	0	0	0	0	0	7	12	0	75	4	1	5	4	37	1	0	0	0	10	120	0	2	0	35	45	14	6	0	0	0	0
	下野	196	0	9	0	0	0	0	0	8	9	0	72	2	1	6	1	10	0	0	0	0	4	35	0	0	0	15	15	5	4	0	0	0	0
	保々	210	1	9	0	0	0	0	0	3	3	0	39	0	0	3	2	15	0	0	0	0	10	55	0	0	0	35	29	4	2	0	0	0	0
	川越町	937	5	11	0	2	0	1	0	18	21	1	238	4	5	13	2	19	1	0	2	1	15	249	0	11	0	152	137	18	11	0	0	0	0
	朝日町	355	0	12	0	0	0	0	0	13	20	0	69	7	3	4	0	9	3	0	1	0	11	90	0	0	0	42	55	11	5	0	0	0	0
南消防署管内	小計	4967	5	101	0	15	0	3	1	98	179	16	990	64	36	87	26	149	1	3	5	4	141	1149	0	41	0	822	842	120	64	0	0	5	0
	塩浜	1018	0	7	0	2	0	0	0	9	22	3	82	1	2	10	1	15	0	0	3	2	14	337	0	9	0	203	264	19	13	0	0	0	0
	日永	1112	4	16	0	6	0	2	0	39	82	1	328	25	6	22	3	45	1	1	1	1	22	161	0	12	0	147	144	32	11	0	0	0	0
	河原田	639	0	6	0	3	0	1	1	5	18	1	63	0	3	4	0	16	0	0	0	0	12	198	0	7	0	161	129	6	5	0	0	0	0
	四郷	532	0	22	0	0	0	0	0	22	15	1	241	13	8	19	16	40	0	0	0	0	24	33	0	0	0	19	22	23	13	0	0	1	0
	内部	534	0	10	0	2	0	0	0	10	19	3	116	10	9	17	4	14	0	1	0	0	25	104	0	6	0	93	74	10	7	0	0	0	0
	小山田	225	0	11	0	1	0	0	0	6	7	0	7	1	4	7	0	7	0	1	1	0	24	82	0	1	0	18	39	4	4	0	0	0	0
	水沢	244	0	10	0	0	0	0	0	4	2	6	12	7	3	3	0	3	0	0	0	0	8	60	0	0	0	47	76	3	0	0	0	0	0
楠	663	1	19	0	1	0	0	0	3	14	1	141	7	1	5	2	9	0	0	0	1	12	174	0	6	0	134	94	23	11	0	0	4	0	

# 数量・類別危険物施設設置状況

平成24年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数			
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14klを超える被率引	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所	
合計		4177	125	3253	368	1740	335	60	158	16	788	220	123	799	221	5	0	63	0	510	744	
数量別	5倍以下	570	7	461	116	111	0	37	67	16	86	3	28	102	4	1	0	0	0	97		
	5倍を越え10倍以下	479	11	341	64	128	0	7	34	0	72	3	36	127	23	3	0	0	0	101		
	10倍～50倍	990	15	768	84	455	0	16	41	0	124	13	48	207	93	1	0	2	0	111		
	50倍～100倍	734	15	638	25	176	0	0	5	0	429	139	3	81	12	0	0	1	0	68		
	100倍～150倍	253	6	215	26	121	0	0	5	0	63	55	0	32	17	0	0	2	0	13		
	150倍～200倍	108	5	73	10	50	3	0	2	0	4	2	7	30	17	0	0	2	0	11		
	200倍～1,000倍	520	35	360	27	318	62	0	4	0	10	5	1	125	53	0	0	7	0	65		
	1,000倍～5,000倍	230	16	176	7	169	75	0	0	0	0	0	0	38	2	0	0	12	0	24		
	5,000倍～10,000倍	80	3	68	5	63	55	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3	0	6		
10,000倍を超えるもの	213	12	153	4	149	140	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	34	0	14			
類別	単独	第1類	6	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		
		第2類	21	1	17	6	11	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2		
		第3類	48	6	34	3	31	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8		
		第4類	3920	98	3095	300	1665	333	60	158	16	774	220	122	727	221	2	0	58	0	446	
		第5類	12	0	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		第6類	48	0	45	1	30	2	0	0	0	14	0	0	3	0	0	0	1	0	2	
	混在	122	20	47	46	0	0	0	0	0	0	0	1	55	0	3	0	3	0	49		

# 地区別危険物施設設置状況

平成24年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		4177	125	3253	368	1740	60	158	16	788	123	799	221	5	63	510
中消防署管内	小計	774	22	588	53	240	29	57	7	177	25	164	62	2	14	86
	共同	10	0	6	0	0	2	4	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	15	0	14	5	0	0	2	0	7	0	1	1	0	0	0
	港	305	6	259	18	112	4	3	0	108	14	40	7	0	2	31
	浜田	96	3	76	6	4	4	17	1	39	5	17	11	0	0	6
	橋北	166	11	121	9	108	0	1	0	1	2	34	5	1	12	16
	海蔵	22	0	18	2	1	2	3	0	10	0	4	3	0	0	1
	常磐	25	0	14	2	3	0	9	0	0	0	11	4	0	0	7
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	17	0	10	3	0	0	4	0	0	3	7	5	0	0	2
	桜	12	0	9	2	0	0	5	2	0	0	3	3	0	0	0
	県	29	0	16	1	5	1	5	1	3	0	13	5	0	0	8
	三重	73	2	44	5	6	16	4	3	9	1	27	13	0	0	14
北消防署管内	小計	1215	41	947	106	437	20	48	6	277	53	227	76	0	17	134
	羽津	500	27	377	41	260	1	6	0	52	17	96	11	0	16	69
	富田	46	0	38	7	1	3	8	2	10	7	8	7	0	0	1
	富洲原	68	2	54	7	3	3	4	0	30	7	12	9	0	0	3
	大矢知	39	0	25	14	4	3	3	0	0	1	14	5	0	0	9
	八郷	18	0	11	3	0	5	1	0	2	0	7	6	0	0	1
	下野	9	0	7	3	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1
	保々	26	1	16	7	3	0	2	1	1	2	9	5	0	0	4
	朝日町	45	0	28	8	13	2	0	1	2	2	17	6	0	0	11
川越町	464	11	391	16	152	3	22	1	180	17	62	26	0	1	35	
南消防署管内	小計	2188	62	1718	209	1063	11	53	3	334	45	408	83	3	32	290
	塩浜	982	34	783	65	551	5	14	1	131	16	165	14	0	28	123
	日永	380	11	294	41	197	2	12	1	29	12	75	13	2	1	59
	四郷	18	0	8	3	2	0	0	0	3	0	10	6	0	0	4
	内部	65	1	37	8	6	0	6	0	17	0	27	17	0	0	10
	河原田	399	12	319	61	208	2	1	0	38	9	68	12	1	2	53
	小山田	98	1	76	5	28	1	9	1	30	2	21	9	0	0	12
	水沢	33	0	26	1	17	0	5	0	3	0	7	4	0	0	3
楠	213	3	175	25	54	1	6	0	83	6	35	8	0	1	26	



# 事業所等別危険物施設状況

平成24年4月1日現在

区 分		合 計	コ ン ビ ナ ー ト			そ の 他	
			小 計	第 1 コ ン ビ ナ ー ト	第 2 コ ン ビ ナ ー ト		第 3 コ ン ビ ナ ー ト
施 設							
合 計		4177	2064	1364	316	384	2113
製 造 所		125	95	51	17	27	30
貯  蔵  所	小 計	3253	1596	1068	247	281	1657
	屋 内 貯 蔵 所	368	160	117	15	28	208
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1740	1373	912	218	243	367
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	60	4	4	0	0	56
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	158	5	4	1	0	153
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	16	0	0	0	0	16
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	788	0	0	0	0	788
	屋 外 貯 蔵 所	123	54	31	13	10	69
取  扱  所	小 計	799	373	245	52	76	426
	給 油 取 扱 所 ( 営 業 用 )	92	0	0	0	0	92
	給 油 取 扱 所 ( 自 家 用 )	129	3	2	0	1	126
	販 売 取 扱 所	5	0	0	0	0	5
	移 送 取 扱 所	63	62	32	14	16	1
	一 般 取 扱 所	510	308	211	38	59	202

## コンビナート概要

事業所数

(平成24年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	5社6事業所	2社3事業所	7社7事業所	41社50事業所
第2種事業所	12社14事業所	2社2事業所	3社3事業所	
その他事業所	6社6事業所	5社5事業所	4社4事業所	
計	23社26事業所	9社10事業所	14社14事業所	

※同一社において事業者別又はコンビナート地区が異なるときは、各該当欄へ記載しているため、合計数としての社数とは一致しない。

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	計
石油貯蔵量	3,520,400 kℓ	1,417,169 kℓ	190,556 kℓ	5,128,125 kℓ
石油取扱量	880,285 kℓ	870,002 kℓ	73,195 kℓ	1,823,482 kℓ
石油合計量	4,400,685 kℓ	2,287,171 kℓ	263,751 kℓ	6,951,607 kℓ
高圧ガス処理量	296,160,255 m <sup>3</sup> /D	62,518,587 m <sup>3</sup> /D	218,836,471 m <sup>3</sup> /D	577,515,313 m <sup>3</sup> /D

## 特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

種別	消火栓単独施設	貯水単独槽施設	合計
設置事業所数			
23	23		23

流出油等防止堤設置状況

事業所数及びブロック数	対象タンク数及び合計容量	ブロックの最大収容量	収容タンク数	収容タンクの総容量	法定堤内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	98基 4,292,690 kl	648,930 kl	241 基	4,816,501 kl	639,978 kl	891,684.3 kl	15.346 km

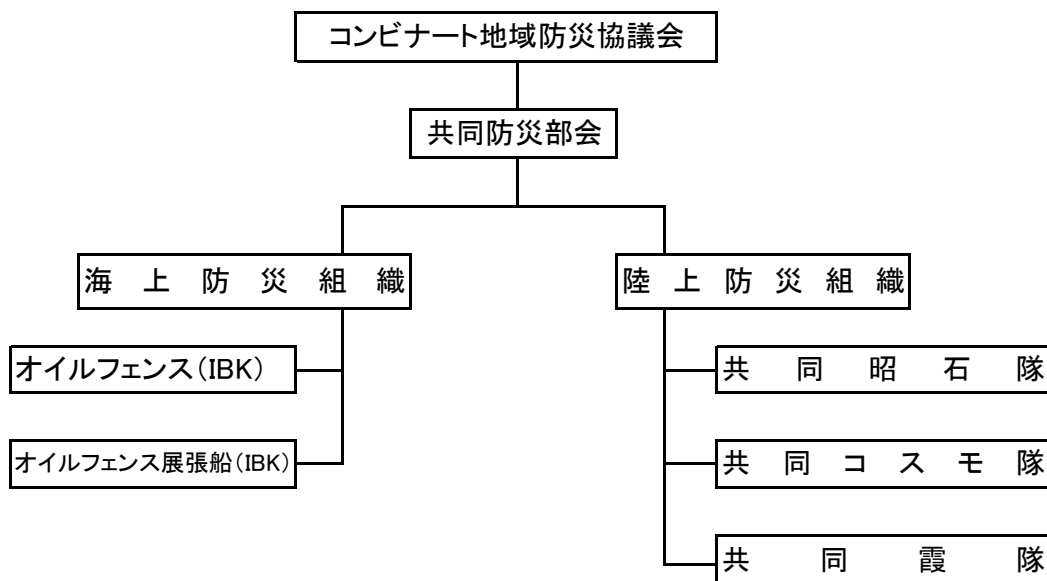
非常通報設備(ホットライン)加入事業者

区分	全体事業所数	加入事業所数
第1種事業所	16	13
第2種事業所	19	15
その他種事業所	15	3
合計	50	31

# コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(平成24年4月1日現在)



## (1) 海上防災組織防災隊員(計)

総数	8人
船舶乗組員	4人
その他の防災要員	4人

## (1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総数	68人
指揮者・機関員	30人
その他の防災要員	38人

## (2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:	B型 1,080m
オイルフェンス展張船:	1隻

## (2) 防災資機材(計)

2点セット	3セット
消火原液	33.5kℓ

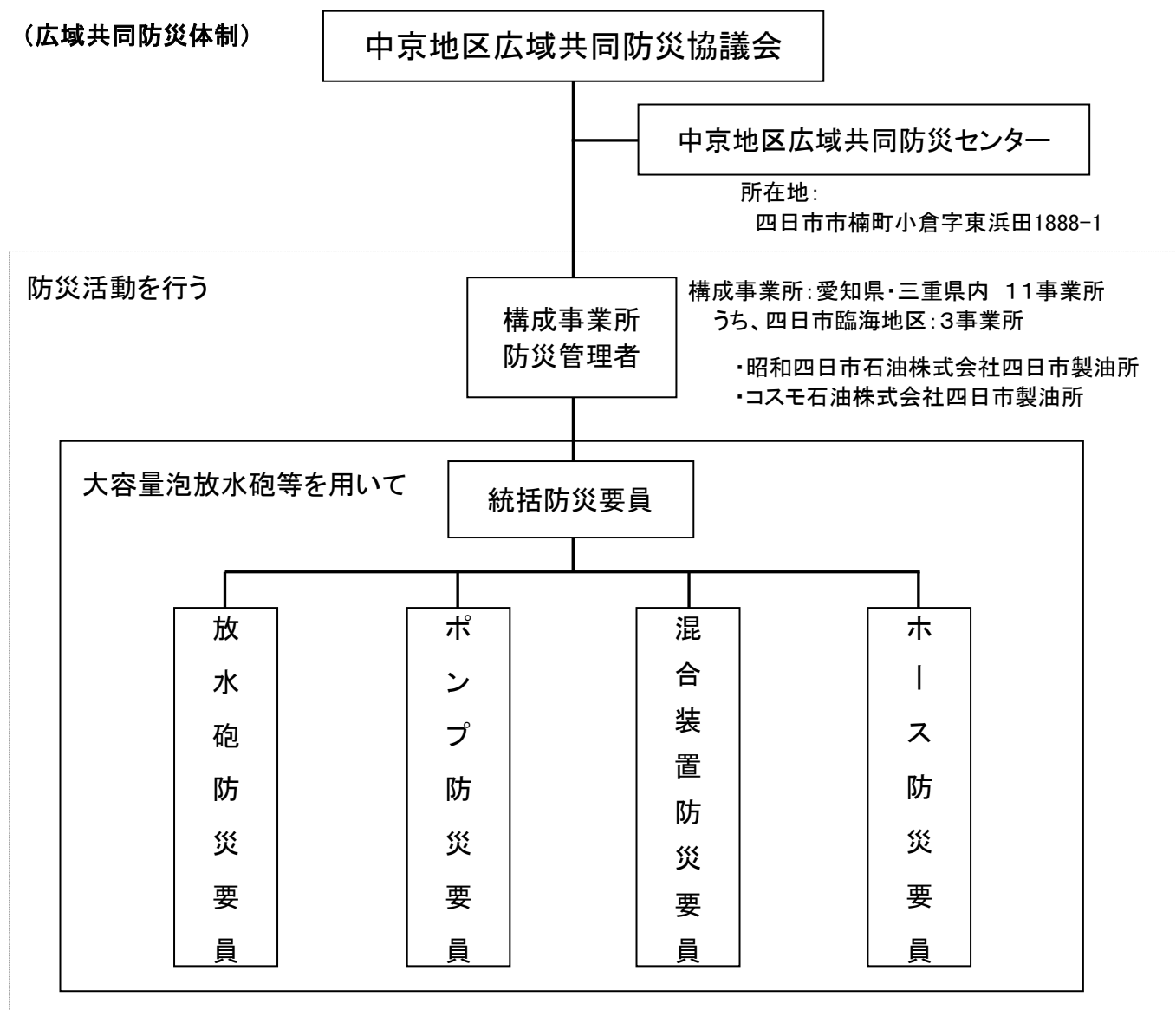
## (自衛消防体制)

### (1) 防災隊員(計)

総数	1,344人
専任	246人
兼任	1,098人
船舶隊員	8人

海上陸上	オイルフェンス展張船:	3隻	
	油回収船・油回収装置付:	2隻	
	オイルフェンス:	17394m	
	油理処剤	乳化分散型:	33.8kℓ
		吸着マット:	18796kg
	化学消防車(3点セット除く):	11台	
その他消防車(上記除く):	6台		
泡原液:	148kℓ		

(広域共同防災体制)

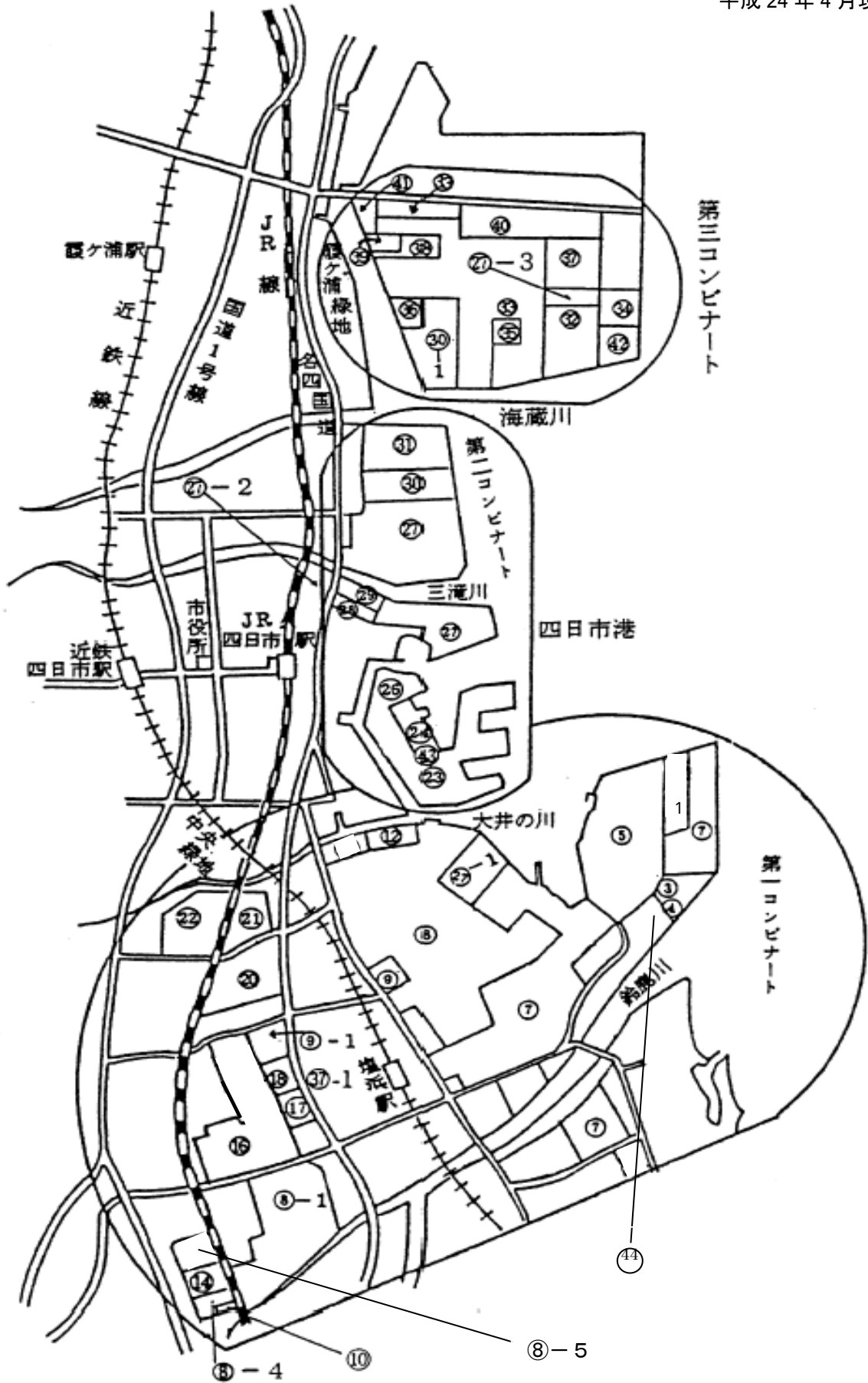


### 防災資機材の備付状況

項目	数量	要目	備付場所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000~30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	2ユニット	水中ポンプ(4台/1ユニット) 公称能力30,000L/min(1ユニット)	中京地区広域 共同防災センター
加圧ポンプ	4台	公称能力30,000L/min/台	中京地区広域 共同防災センター
ホース	2730m	12B・リール式 150m×14セット (150m未満のホース含む)	中京地区広域 共同防災センター
耐熱服	4着	KA-2000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
空気呼吸器	4個	A1F(CX)-815FZ ゲージ内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV-1 (AR-AFFF 1%型)	中京地区広域 共同防災センター
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20 20KL	中京地区広域 共同防災センター

四日市臨海地区事業所配置図

平成 24 年 4 月現在



## 四日市臨海地区事業所

### 〔第3コンビナート〕

27-3	コスモ石油(株)四日市霞発電所
32	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
33	東ソー(株)四日市事業所
34	中部電力(株)四日市LNGセンター
30-1	KHネオケム(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
35	日本ポリプロ(株)四日市工場
36	上野製薬(株)四日市工場
37	BASFジャパン(株)四日市事業所
38	丸善石油化学(株)四日市工場
39	四日市オキシトン(株)四日市工場
40	DIC(株)四日市工場
41	霞共同事業(株)
42	東邦ガス(株)四日市工場

### 〔第2コンビナート〕

23	第一工業製薬(株)四日市事業所
24	日本板硝子(株)四日市工場
26	宮木(株)四日市油槽所
27	コスモ石油(株)四日市製油所
27-2	コスモ石油(株)第一陸上出荷場
28	コスモ石油販売(株)三重カンパニー
29	昭和電工ガスプロダクツ(株)四日市工場
30	KHネオケム(株)四日市工場 午起製造所
31	中部電力(株)四日市火力発電所
43	Avan Strate(株)四日市工場

### 〔第1コンビナート〕

3	三菱マテリアル(株)四日市工場
3 1	三菱マテリアル(株)四日市工場 第2プラント
4	日本アエロジル(株)四日市工場
5	石原産業(株)四日市工場
7	昭和四日市石油(株)四日市製油所
27-1	コスモ石油(株)塩浜油槽所
8	三菱化学(株)四日市事業所 塩浜地区
8-1	三菱化学(株)四日市事業所 川尻地区
8-4	三菱化学(株)四日市事業所 大治田地区
8-5	三菱化学(株)四日市事業所 北大治田地区
9	四日市合成(株) 四日市工場
9-1	四日市合成(株) 六呂見工場
10	(株)ロンビック大治田工場

12	日本トランスシティ(株) 東邦町タンクヤード
14	ライオンアクゾ(株)四日市工場
16	JSR(株)四日市工場
37-1	BASFジャパン(株)六呂見工場
17	東邦化学工業(株)四日市工場
18	(株)JSP四日市第一工場
20	味の素(株)東海事業所
21	パナソニック(株)四日市工場
22	三菱ガス化学(株)四日市工場
44	エボニックモノシランジャパン(株)

消 防 団

## 四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新町（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手 193人 合計 200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏 6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏



昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、県、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」（団員確保功労）を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした
平成22年 10月1日	7代目消防団長に稲垣貢氏就任

### 歴代四日市市消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ～ 昭和24年 8月10日
2	大野 正平	昭和24年 8月11日 ～ 昭和53年 2月28日
3	榊原 孫七	昭和53年 3月 1日 ～ 平成元年 1月31日
4	岩田 忠兵衛	平成元年 2月 1日 ～ 平成9年 1月31日
5	後藤 正義	平成9年 2月 1日 ～ 平成13年 7月31日
6	堀 善澄	平成13年 8月 1日 ～ 平成22年 8月29日
7	稲垣 貢	平成22年10月 1日 ～ 現在

### 歴代四日市市楠消防団長

代	氏名	在職期間
初	橋本 巳貴也	平成17年 2月 7日 ～ 平成22年3月31日

# 消 防 団 の 概 況

(平成24年4月1日現在)

分 団	区 分	人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
	合 計	<b>620</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>56</b>	<b>109</b>	<b>397</b>	<b>29</b>	
	団 本 部	<b>60</b>	<b>1</b>	<b>5</b>			<b>2</b>	<b>8</b>	<b>44</b>	<b>3</b>	
	サルビア分団	<b>15</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>10</b>		
四 日 市 消 防 団	北 ブ ロ ッ ク	羽 津 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		富 田 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		富 洲 原 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
	中 ブ ロ ッ ク	大 矢 知 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		八 郷 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		下 野 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
	南 ブ ロ ッ ク	保 々 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		橋 北 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		海 蔵 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		海 上 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		常 磐 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		三 重 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		神 前 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		川 島 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		県 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
	南 ブ ロ ッ ク	桜 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		塩 浜 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		日 永 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		河 原 田 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
内 部 分 団		<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	
四 郷 分 団		<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	
小 山 田 分 団		<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	
水 沢 分 団		<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	
北 楠 分 団	<b>37</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>24</b>	<b>2</b>		
南 楠 分 団	<b>27</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>17</b>	<b>1</b>		

## 四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成24年4月1日現在)

団 員 数 (人)	職 業 別	農 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ガ ス 熱供給 水道業	運 輸 通 信 業	卸 売 小 売 業 飲 食 業	金 融 保 險 業	サ-ビス業 不 動 産 業	公 務	そ の 他
	594	林業 漁業	26	78	214	14	43	71	4	62	23

消防団員の年齢別状況

平均年齢 44.7才

(平成24年4月1日現在)

階 級	区 分	18~20 才	21~25 才	26~30 才	31~35 才	36~40 才	41~45 才	46~50 才	51~55 才	56才 以 上
	総 数	594	5	11	37	68	119	109	96	72
団 長	1									1
副 団 長	4									4
分 団 長	26						1		7	18
副 分 団 長	26					1	2	1	10	12
部 長	56				1	2	7	13	14	19
班 長	109				2	14	29	29	18	17
団 員	372	1	14	30	52	108	72	49	23	23

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 12年

(平成24年4月1日現在)

階 級	区 分	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
	総 数	594	202	99	87	77	43	41

## 消 防 団 員 出 動 状 況

(平成23年度)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	計	回数	174	121	322	321	126	219	207	289	216	183	145
	人員	1,264	1,047	2,734	3,190	1,212	1,699	1,323	2,169	1,713	1,793	1,141	1,614
災害出動	回数	1	0	0	1	0	53	1	0	0	2	0	1
	人員	18	0	0	11	0	495	19	0	0	8	0	12
災害出動 (4時間未満)	回数	28	7	17	39	21	16	13	7	16	10	25	26
	人員	310	75	198	322	253	157	143	76	167	96	240	230
警戒	回数	0	0	0	0	3	0	0	0	60	0	0	0
	人員	0	0	0	0	17	0	0	0	604	0	0	0
訓練	回数	6	25	157	174	28	53	101	141	69	83	19	14
	人員	66	186	1,209	1,816	272	337	354	872	243	896	180	132
広報活動	回数	2	4	4	3	3	1	11	38	2	2	7	37
	人員	17	21	21	29	26	8	81	386	15	18	58	357
警防調査	回数	3	3	7	2	2	3	4	11	4	5	4	12
	人員	21	21	49	13	17	21	28	117	38	36	30	96
会議	回数	22	9	22	11	5	36	12	7	1	19	30	48
	人員	72	56	44	26	18	53	23	49	13	47	65	91
研修	回数	52	18	1	0	2	2	1	27	6	2	5	0
	人員	152	51	1	0	19	26	7	43	10	2	11	0
消防用件	回数	14	10	68	48	16	9	16	11	11	15	6	34
	人員	75	116	683	451	73	71	136	97	93	162	29	166
ポンプ点検	回数	46	45	46	43	46	46	48	47	47	45	49	50
	人員	533	521	529	522	517	531	532	529	530	528	528	530

## 消防団訓練・研修実施状況

種 別	実 施 機 関	期 間	参加人員
初任科及び幹部科	消 防 本 部	4月8日	46名
機関員科	各 消 防 署	4月18日、25日	90名
普通科	三重県消防学校	6月18日～6月19日	1名
指導員科	三重県消防学校	9月10日～9月11日	1名
幹部科	三重県消防学校	11月5日～11月6日	1名
水防研修	各 消 防 署	6月6日～13日	154名
応急手当指導員	各 消 防 署	5月、11月	59名
防災訓練	四 日 市 市	8月27日	約600名
規律訓練	各 消 防 署	11月6日～20日	367名
春・秋の火災予防運動訓練	各 消 防 署	3月1日～3月7日	720名
		11月9日～11月15日	
文化財防火デー	各 消 防 署	1月22日～24日、29日	32名

## サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団（以下 サルビア分団）は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況	平成23年度（回／年）
予防広報（大型紙芝居を含む）	21回

## 消防団防災支援隊の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」・「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

平成24年4月1日現在 177名